

＝自転車 J I S 改正案に対する意見募集について＝

一般財団法人 自転車産業振興協会

当協会は自転車 JIS 規格の原案作成団体として、これまで多くの自転車 JIS 規格の改正・審議を実施してきております。

さて、今般、下記の自転車 JIS 規格（2 規格）については、業界有識者で構成する「タイヤ及びリム原案作成委員会」において、改正内容を十分審議・検討した上で、改正案を取りまとめました。今回の JIS K 6302 及び JIS D 9421 の改正では、ISO 5775-1:2023 及び ISO 5775-2:2021 との整合化を主な目的として、対応国際規格に合わせてチューブレス対応のタイヤ、チューブレスリムを規格の適用範囲に追加し、タイヤの呼び及びリムの呼びについて対応国際規格の表記を優先しております。

つきましては、この改正案に対して、自転車業界関係者（製造事業者、販売事業者、輸入事業者など）に広く周知を行い、幅広いご意見をいただきたく、下記の要領により意見募集をいたしますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

対象規格	[改正：2 規格] JIS K 6302 自転車－タイヤ JIS D 9421 自転車－リム
意見募集 期 間	2026 年 8 月 5 日（水）～ 2026 年 9 月 4 日（金）
意見募集 方 法	会社名、担当者名、連絡先等を必ず明記の上、下記の間合せ先まで文書、又は電子メールで送信願います。（様式は問いません）
問 合 せ 先	〒590-0948 大阪府堺市堺区戎之町西 1 丁 3 - 3 （一財）自転車産業振興協会 技術研究所（担当：北野） T E L 072-238-8731 F A X 072-238-8271 e-mail webmaster@jbpi.or.jp
そ の 他	・ J I S は著作権の関係上、全文を掲載することは出来ません。 ・ 頂戴したご意見等は、その内容に応じて別途、検討させていただきます。 ・ 掲載した改正案は最終版ではありません。今後の各種審議過程で内容が変更となる場合があります。

今回の改正で、対応国際規格に合わせて規格中で使用するタイヤ及びリムの種類に関する用語を追加、見直し予定である。タイヤ及びリムの種類に関する用語について JIS K 6302:2011 及び JIS D 9421:2009 で使用している用語との新旧対比表を以下に示す。

タイヤの種類に関する用語の新旧対比表

JIS K 6302:2011	改正案
—	クリンチャータイヤ ¹⁾
—	チューブレスタイヤ ¹⁾
—	チューブレスレディタイヤ ¹⁾
—	チューブタイヤ ¹⁾
チューブラタイヤ (丸タイヤ)	チューブラータイヤ ¹⁾
WO タイヤ	ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤ
WO タイヤ	ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤ
HE タイヤ	フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤ
BE タイヤ	運搬車用ビーデッドエッジタイヤ
¹⁾ 対応国際規格に合わせて追加予定。	

リムの種類に関する用語の新旧対比表

JIS D 9421:2009	改正案
SS リム	ストレートサイドタイプ (SS) リム
—	チューブレスストレートサイドタイプ (TSS) リム ¹⁾
CT リム	クロチェットタイプ (C) リム
—	チューブレスクロチェットタイプ (TC) リム ¹⁾
WO リム	ワイヤードオン (WO) リム
HB リム	フックドビード (HB) リム
HE リム	フックドエッジ (HE) リム
BE リム	運搬車用ビーデッドエッジ (BE) リム
¹⁾ 対応国際規格に合わせて追加予定。	

JIS K 6302（自転車－タイヤ）対比表

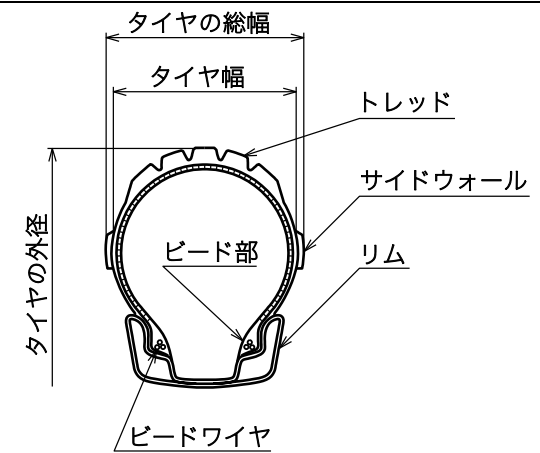
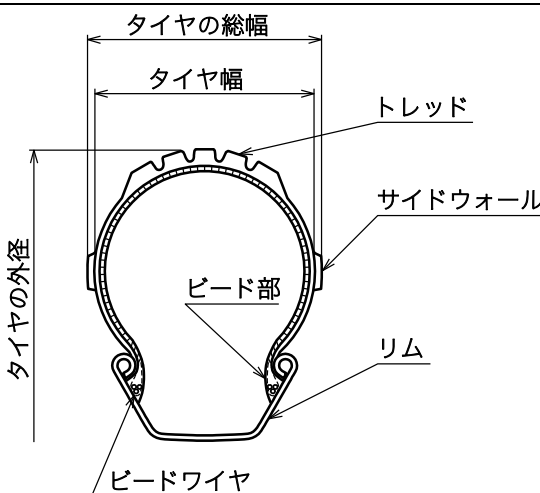
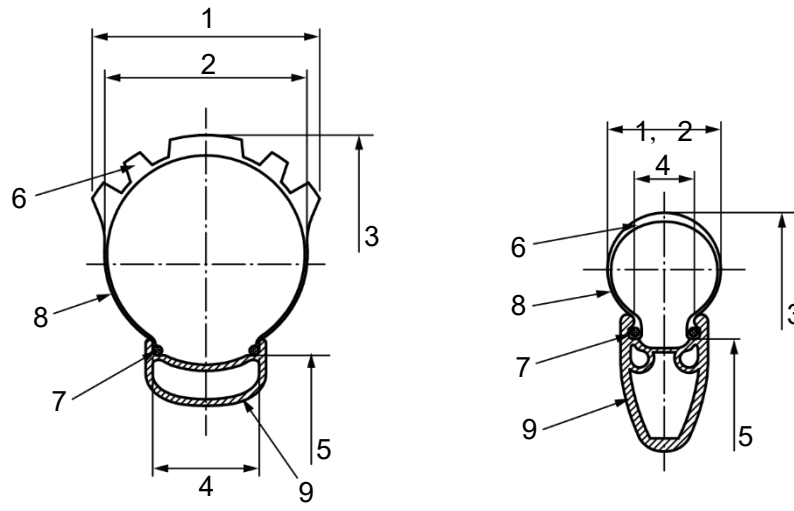
No.	JIS K 6302:2011	改正案（赤字：追加及び変更点）
1	序文 この規格は、1997 年に第 5 版として発行された ISO 5775-1 を基とし、我が国の実状を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。 この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、 附属書 JA に示す。	序文 この規格は、 2023 年に第 7 版として発行された ISO 5775-1 を基とし、我が国の実状を反映して 安全性の確保などを図る ため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。 この規格で、 箇条番号及び細分箇条番号の後に“ A ”から始まるラテン文字の大文字を付記した箇条及び細分箇条並びに附属書 JA～附属書 JB は、対応国際規格にはない事項である。旧規格である JIS K 6302:2011 から表記が追加及び変更となった用語について、附属書 JB に示す。 また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。 技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書 JC に示す。
2	1 適用範囲 この規格は、 JIS D 9111 に規定する自転車に用いる空気入りタイヤ（以下、自転車用タイヤという。）及び運搬車に用いるタイヤ（以下、運搬車用タイヤという。）について規定する。ただし、チューブラタイヤ（丸タイヤ）及びチューブレスタイヤには適用しない。 なお、自転車用タイヤ及び運搬車用タイヤを総称してタイヤという。	1 適用範囲 この規格は、 JIS D 9111 に規定する自転車に用いる空気入りタイヤ（以下、自転車用タイヤという。）及び 主として人力によって、構内、屋内などで人及び動物を除く荷物を運搬するために用いる運搬車に用いるタイヤ （以下、運搬車用タイヤという。）について規定する。ただし、 チューブラータイヤ （丸タイヤ）及び 非空気入りタイヤ には適用しない。 なお、自転車用タイヤ及び運搬車用タイヤを総称してタイヤという。
3	注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。	注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。
4	ISO 5775-1:1997 , Bicycle tyres and rims－Part 1: Tyre designations and dimensions（MOD）	ISO 5775-1:2023 , Bicycle tyres and rims－Part1:Tyre designations and dimensions（MOD）
5	対応の程度を表す記号“MOD”は、 ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。	対応の程度を表す記号“MOD”は、 ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“修正している”ことを示す。
6	2 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。	2 引用規格 次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、 その一部又は全部がこの規格の要求事項 を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。
7	JIS B 7721 引張試験機・圧縮試験機－力計測系の校正方法及び検証方法	JIS B 7721 引張試験機・圧縮試験機－力計測系の校正方法及び検証方法
8	JIS D 9111 自転車－分類及び諸元	JIS D 9111 自転車－分類、用語及び諸元
9	JIS D 9421 自転車－リム	JIS D 9421 自転車－リム
10	注記 対応国際規格： ISO 5775-2:1996 , Bicycle tyres and rims－Part 2: Rims 及び Amendment 1:2001（MOD）	
11	JIS K 6250 ゴム－物理試験方法通則	JIS K 6250 ゴム－物理試験方法通則
12	JIS K 6251 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方	JIS K 6251 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引張特性の求め方
13	JIS K 6259 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－耐オゾン性の求め方	JIS K 6259-1 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－耐オゾン性の求め方－第 1 部：静的オゾン劣化試験及び動的オゾン劣化試験
14	JIS L 1017 化学繊維タイヤコード試験方法	JIS L 1017 化学繊維タイヤコード試験方法
15	JIS Z 2241 金属材料引張試験方法	JIS Z 2241 金属材料引張試験方法
16	JIS Z 8401 数値の丸め方	JIS Z 8401 数値の丸め方
17	3 用語及び定義 この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。	3 用語及び定義 この規格で用いる主な用語及び定義は、次による ほか、JIS D 9111 及び JIS D 9421 による。
18	3.1 タイヤの呼び タイヤの呼びは、“（タイヤ外径の呼び）×（タイヤ幅の呼び）”又は“（タイヤ幅の呼び）－（リム径の呼び）”とする。	3.1 タイヤの呼び タイヤの主要な寸法区分を識別するために用いる呼称 注釈 1 ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤの“タイヤの呼び”は 11.1.2 又は 11.1.3.1 による。 11.1.2 及び 11.1.3.1 それぞれの“タイヤの呼び”を併記してもよい。 注釈 2 ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤの“タイヤの呼び”は、“（タイヤ幅の呼び）－（リム径の呼び）”とする。“（タイヤ幅の呼び）－（リム径の呼び）”及び“（タイヤ外径の呼び）×（タイヤ幅の呼び）”の両方を併記してもよい。 注釈 3 フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤの“タイヤの呼び”は 11.2 による。 注釈 4 運搬車用ビーデッドエッジタイヤの“タイヤの呼び”は、“（タイヤ外径の呼び）×（タイヤ幅の呼び）”とする。

19	3.2 適用リム タイヤの性能を有効に発揮させるのに適したリム。ただし、適用リムの種類、形式及び呼びは、 JIS D 9421 を参照。	3.2 適用リム タイヤの性能を有効に発揮させるのに適したリム 注釈 1 適用リムの種類、形式及び呼びは、 JIS D 9421 を参照。
20		3.3 測定リム 寸法測定のためにタイヤを取り付けるリム
21	3.3 設計寸法 タイヤの設計の基準となる寸法。タイヤの総幅及びタイヤの外径の総称（ 表 1 ～ 表 3 参照）。	3.4 設計寸法 タイヤの設計の基準となる寸法 注釈 1 タイヤ総幅及びタイヤ外径の総称（ 表 1 から 表 4 参照）。
22	3.4 タイヤの総幅 タイヤを適用リムに装着して、標準空気圧を充填し、負荷を加えない状態 ^リ でのタイヤの最大幅（ 図 1 ～ 図 4 参照）。 注^リ タイヤが接地しない状態をいう。	3.5 タイヤ総幅 タイヤを 測定リム（3.3） に装着して、標準空気圧（ 3.9 ）を充填し、負荷を加えない状態でのタイヤの最大幅 注釈 1 図 2 から 図 4 参照。 注釈 2 負荷を加えない状態とはタイヤが接地しない状態をいう。
23	注記 タイヤ幅は、タイヤの総幅の模様、文字などを除いたサイドウォール間の直線距離である。	3.6 タイヤ幅 タイヤ総幅（ 3.5 ）の模様、文字などを除いたサイドウォール（ 3.18 ）間の直線距離 注釈 1 図 2 から 図 4 参照。
24	3.5 タイヤの外径 タイヤを適用リムに装着して、標準空気圧を充填し、負荷を加えない状態 ^リ の外径（ 図 1 ～ 図 4 参照）。	3.7 タイヤ外径 タイヤを 測定リム（3.3） に装着して、標準空気圧（ 3.9 ）を充填し、負荷を加えない状態の トレッド（3.15） の最外面の直径 注釈 1 図 2 から 図 4 参照。 注釈 2 負荷を加えない状態とはタイヤが接地しない状態をいう。
25	3.6 表示空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるためにタイヤに表示してある空気圧。	3.8 表示空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるためにタイヤに表示してある空気圧
26	3.7 標準空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧。	3.9 標準空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧
27	3.8 最大空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧の最大値。	3.10 最大空気圧 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧の最大値
28	3.9 推奨空気圧範囲 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧の範囲（最大値及び最小値）。	3.11 推奨空気圧範囲 タイヤの性能を有効に発揮させるのに適した空気圧の範囲（最大値及び最小値）
29	3.10 最大負荷 タイヤに標準空気圧を充填したとき、タイヤの耐久性を有効に発揮させることができる最大の負荷。	3.12 最大負荷 タイヤに標準空気圧（ 3.9 ）を充填したとき、タイヤの耐久性を有効に発揮させることができる最大の負荷

30	3.11 PR（プライレーティング） タイヤ強度の目安。最低等級は 2 PR であり，2 PR の場合はその表示を省略することができる。	3.13 PR（プライレーティング） タイヤの強度，耐荷重性能などをプライ数（ 3.14 ）相当として表す指標 注釈 1 最低等級は 2 PR であり，2 PR の場合はその表示を省略することができる。 注釈 2 実際のプライ数とは異なる場合がある。
31	3.12 運搬車用タイヤ タイヤ幅の呼びが 1 ¾ 以上で 4 未満の BE タイヤ又は WO タイヤで，リヤカー，一輪車などの人力で動かす運搬用車両に用いるタイヤ。	3.23 運搬車用タイヤ タイヤ幅（ 3.6 ）の呼びが 1 ¾ 以上で 4 未満の 運搬車用ビードッドエッジタイヤ又はワイヤードオンタイヤの総称 で，リヤカー，一輪車などの人力で動かす 運搬車 に用いるタイヤ
32	3.13 トレッド タイヤの接地部分のゴム層（ 図 1 ～ 図 4 参照）。	3.15 トレッド タイヤの接地部分 注釈 1 図 1 から 図 4 参照。
33	3.14 ビード部 タイヤとリムとのかん合部分（ 図 1 ～ 図 4 参照）。	3.16 ビード部 タイヤとリムとのかん合部分 注釈 1 図 1 ， 図 2 及び 図 4 参照。
34	3.15 サイドウォール トレッドとビード部との間のゴム層（ 図 1 ～ 図 4 参照）。	3.18 サイドウォール トレッド（ 3.15 ）とビード部（ 3.16 ）との間の タイヤの部分 注釈 1 図 2 から 図 4 参照。
35	3.16 裏布 タイヤ内部でプライを形成している繊維線（コード）。	3.19 コード タイヤ内部でプライ（ 3.20 ）を構成する繊維糸，スチール製などの補強材 注釈 1 図 1 参照。
36	3.17 プライ コードの層。裏布の枚数で表す。	3.20 プライ カーカス（ 3.21 ）を構成する，コード（ 3.19 ）で形成された層 注釈 1 図 1 参照。 注釈 2 一般的にゴムなどで被覆されている。
37		3.14 プライ数 カーカス（ 3.21 ）を構成するプライ（ 3.20 ）の積層数 注釈 1 積層数が 2 の場合は 2 プライと表記する。
38		3.17 ビードワイヤ タイヤをリムに固定するために，ビード部（ 3.16 ）に配置される鋼線または繊維材など 注釈 1 図 1 及び 図 3 参照。
39		3.21 カーカス プライ（ 3.20 ）を積層して成形されたタイヤの骨格部分 注釈 1 図 1 参照。

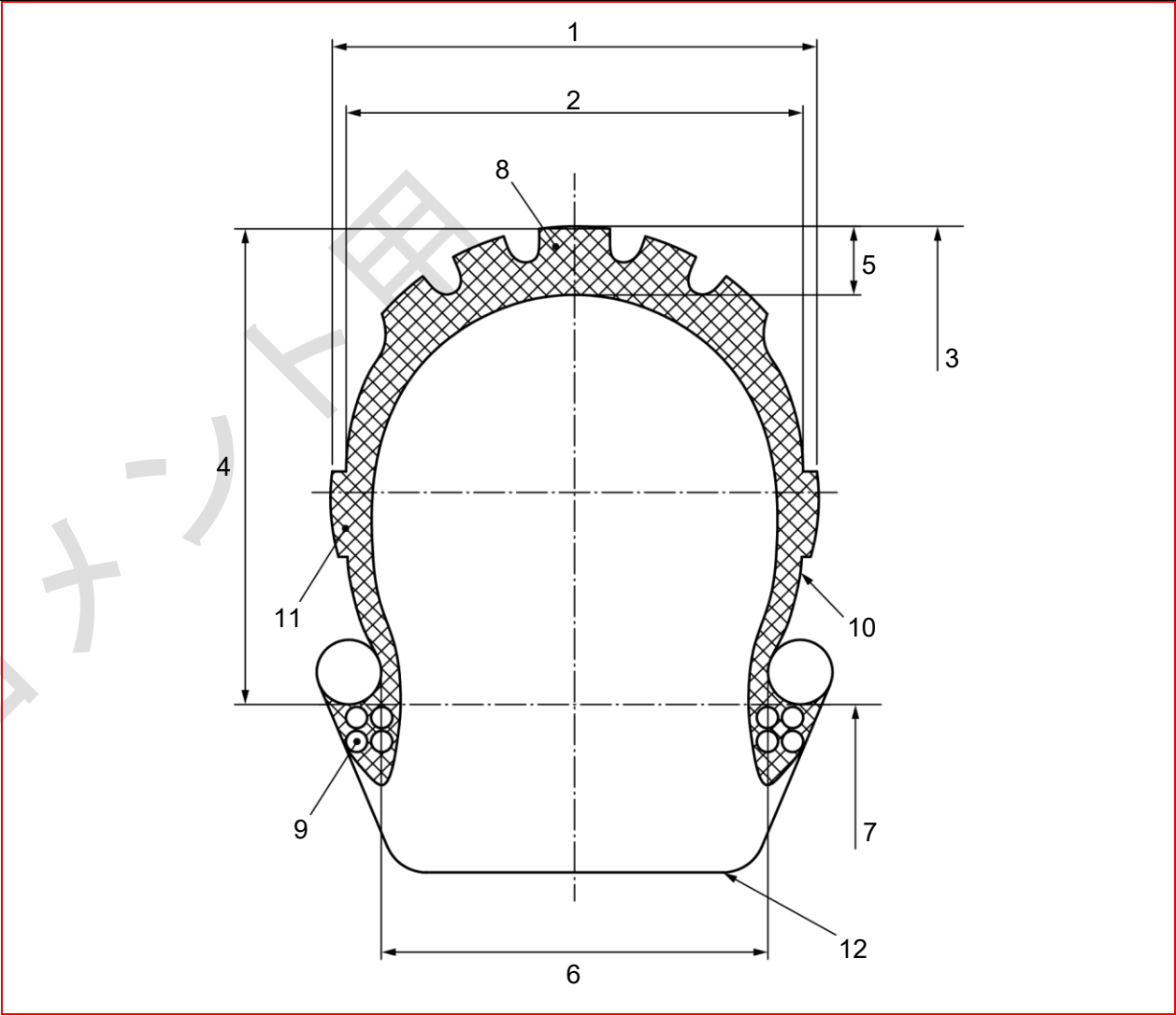
40		3.22 耐パンクベルト 異物が刺さることによるパンクを低減させるため、トレッド（3.15）下に配置される保護材 注釈 1 図 1 参照。
41		記号説明 1：トレッド 2：ビード部 3：ビードワイヤ 4：コード 5：プライ 6：カーカス 7：耐パンクベルト 図 1ータイヤ断面
42		3.24 クリンチャータイヤ（clincher tyre） タイヤに空気を入れたとき、ビード部（3.16）がリムのビードシート、フックなどにロックされるタイヤ
43		3.25 チューブレスタイヤ，TL（tubeless tyre） 空気圧を維持するためのインナーチューブ及びシーラントなしで機能するクリンチャータイヤ（3.24）
44		3.26 チューブレスレディタイヤ，TLR（tubeless-ready tyre） インナーチューブなしで機能するが、空気圧を維持するためにシーラントが必要なクリンチャータイヤ（3.24）
45		3.27 チューブタイヤ（tube-type tyre） 空気圧を維持するためのインナーチューブがないと機能しないクリンチャータイヤ（3.24）

46		3.28 チューブラータイヤ (tubular sew-up tyre) リムに接着又はテープで固定された、インナーチューブの有無にかかわらず完全に密閉されたタイヤ
47		4 記号及び略語 この規格で用いる記号及び略語は、次による。 • D_o : タイヤ外径 • $D_{o,design}$: タイヤ外径の設計値 • $D_{o,max}$: タイヤ外径の最大値 • D_R : 公称リム径 • D_s : 規定リム径 • H_{design} : タイヤ高さの設計値 • R_{design} : 設計リム幅 • R_m : 測定リム幅 • S : タイヤ幅 • S_{design} : タイヤ幅の設計値 • S_{min} : タイヤ幅の最小値 • S_N : タイヤ幅の公称値 • W : タイヤ総幅 • W_{max} : タイヤ総幅の最大値 • C : クロチェットタイプリム • SS : ストレートサイドタイプリム • TC : チューブレスクロチェットタイプリム • TSS : チューブレスストレートサイドタイプリム
48	4 種類 タイヤの種類は、用途及びビード部の形式によって区分し、次による。	5 種類 タイヤの種類は、用途及びビード部の形式によって区分し、次による。
49	a) 用途による区分 用途による区分は、自転車用タイヤ及び運搬車用タイヤの2種類とする。	a) 用途による区分 用途による区分は、次の2種類とする。
50		1) 自転車用タイヤ
51		2) 運搬車用タイヤ
52	b) ビード部の形式による区分 ビード部の形式による区分は、次の3種類とする。	b) ビード部の形式による区分 ビード部の形式による区分は、次の3種類とする。
53	1) WO²⁾ タイヤ (図 1 参照)	1) ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤ (図 2 参照)
54	2) HE³⁾ タイヤ (図 2 参照)	2) フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤ (図 3 参照)
55	3) BE⁴⁾ タイヤ (図 3 参照)	3) 運搬車用ビーデッドエッジタイヤ (図 4 参照)
56	注²⁾ Wired On の略。対応国際規格では、ストレートサイドリム (SS リム)、又はクロチェットタイプリム (CT リム) に取り付け “ワイヤードエッジ” タイヤと規定している。	
57	3) Hooked Edge の略。対応国際規格では、フックドビードリム (HB リム) に取り付け “ビーデッドエッジ” タイヤと規定している。	
58	4) Beaded Edge の略。	

59	 図 1-WO タイヤ	
60	 図 2-HE タイヤ	
61		 記号説明 1 : タイヤ総幅 (W) 2 : タイヤ幅の設計値 (S_{design}) 3 : タイヤ外径 (D_o) 4 : 測定リム幅 (R_m) 5 : 規定リム径 (D_s) 6 : トレッド 7 : ビード部

8：サイドウォール
9：リム

図2—ストレートサイドタイプリム又はクロシェットタイプリムに取り付ける
クリンチャータイヤの構成及び名称を示す断面図



記号説明

- 1：タイヤ総幅 (W)
- 2：タイヤ幅の設計値 (S_{design})
- 3：タイヤ外径 (D_o)
- 4：タイヤ高さ (H)
- 5：クラウン厚さ
- 6：測定リム幅 (R_m)
- 7：規定リム径 (D_s)
- 8：トレッド
- 9：ビードワイヤ
- 10：サイドウォール
- 11：サイドウォールの文字などの刻印又は模様
- 12：リム

図3—フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤの構成及び名称を示す断面図

63

<

		44-584	26×1 5/8	584×23	C, SS, TC 又は TSS	44	682	表示の最大	320	65
		25-630	27×1	630×19	C	25	688	表示の最大	700	70
		28-630	27×1 1/8	630×19	C 又は SS	28	694	表示の最大	450	65
		32-630	27×1 1/4	630×21	C 又は SS	32	702	表示の最大	410	65
		25-622	700×25C	622×19	C 又は TC	25	680	表示の最大	700	70
		28-622	700×28C	622×19	C, SS, TC 又は TSS	28	686	表示の最大	450	65
		30-622	700×30C	622×21	C, SS, TC 又は TSS	30	690	表示の最大	410	65
		32-622	700×32C	622×21	C, SS, TC 又は TSS	32	694	表示の最大	410	65
		38-622	700×38C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	38	710	表示の最大	320	65
		40-622	700×38C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	40	710	表示の最大	320	65
		40-622	700×40C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	40	710	表示の最大	320	65
		42-622	700×40C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	42	716	表示の最大	320	65
		42-622	700×42C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	42	716	表示の最大	320	65
		45-622	700×45C	622×23	C, SS, TC 又は TSS	45	722	表示の最大	270	65
		47-622	700×45C	622×25	C, SS, TC 又は TSS	47	724	表示の最大	270	65
		50-622	700×50C	622×25	C, SS, TC 又は TSS	50	734	表示の最大	270	65
		54-622	700×50C	622×25	C, SS, TC 又は TSS	54	742	表示の最大	270	65
		37-630	27×1 3/8	630×23	C 又は SS	37	712	表示の最大	300	70
		37-642	28×1 3/8	642×23	C 又は SS	37	724	表示の最大	300	75
		57-203	12.5× 2.25	203×25	C	57	329	表示の最大	250	40
		38-254	14×1.50	254×23	C	38	338	表示の最大	360	40
		40-254	14×1.55	254×23	C	40	342	表示の最大	250	40
		44-254	14×1.75	254×23	C	44	352	表示の最大	250	45
		45-254	14×1.75	254×23	C	45	354	表示の最大	250	45
		38-305	16×1.50	305×23	C	38	389	表示の最大	360	45
		40-305	16×1.55	305×23	C	40	393	表示の最大	250	45
		44-305	16×1.75	305×23	C	44	403	表示の最大	250	50
		45-305	16×1.75	305×23	C	45	405	表示の最大	250	50
		38-355	18×1.50	355×23	C	38	439	表示の最大	360	55
		40-355	18×1.55	355×23	C	40	443	表示の最大	250	55

	44-355	18×1.75	355×23	C	44	453	表示の最大	250	60	
	45-355	18×1.75	355×23	C	45	455	表示の最大	250	60	
	38-406	20×1.50	406×23	C	38	490	表示の最大	360	60	
	40-406	20×1.55	406×23	C	40	494	表示の最大	250	60	
	44-406	20×1.75	406×23	C	44	504	表示の最大	250	65	
	45-406	20×1.75	406×23	C	45	506	表示の最大	250	65	
	54-406	20×2.125	406×25	C	54	526	表示の最大	250	70	
	44-457	22×1.75	457×23	C	44	555	表示の最大	250	70	
	45-457	22×1.75	457×23	C	45	557	表示の最大	250	70	
	38-507	24×1.50	507×23	C	38	591	表示の最大	360	65	
	40-507	24×1.55	507×23	C	40	595	表示の最大	320	65	
	44-507	24×1.75	507×23	C	44	605	表示の最大	320	65	
	45-507	24×1.75	507×23	C	45	607	表示の最大	270	65	
	38-559	26×1.50	559×23	C, TC 又は TSS	38	643	表示の最大	360	65	
	40-559	26×1.55	559×23	C, TC 又は TSS	40	647	表示の最大	320	65	
	44-559	26×1.75	559×23	C, TC 又は TSS	44	657	表示の最大	320	65	
	45-559	26×1.75	559×23	C, TC 又は TSS	45	659	表示の最大	270	65	
	54-559	26×2.125	559×25	C, TC 又は TSS	54	679	表示の最大	270	65	
	注^{a)} “（タイヤ外径の記号）×（タイヤ総幅の記号）”によって、タイヤの寸法の目安を示す従来の表示方法である。この表示は設計リム幅 R_{design} が規定される以前の慣例に基づくものであり、表示値はタイヤ外径及びタイヤ総幅のいずれについても実際の寸法を規定するものではない（例えば、公称寸法 40-622、旧寸法 700×38C の組合せ）。対応国際規格においては“旧寸法の表示（Old size marking）”として附属書 A（Annex A）に記載されている。 注^{b)} 動的試験の空気圧は、9.8 及び 9.9 の試験において、標準空気圧又はシステム最大空気圧（リム又はタイヤに推奨される最大空気圧のいずれか小さい値）が不明な場合に用いる。									

66

表 1－WO タイヤ

タイヤの呼び	適用リム		設計寸法		標準空気圧 kPa	最大負荷 (質量) kg			
	呼び	形式	タイヤの総幅 mm	タイヤの外径 mm					
16×1 ³ / ₈ (37-349)	16×1 ³ / ₈	WO-2 又は SS	37	425	300	40			
		WO-3 又は SS	38						
18×1 ³ / ₈ (37-400)	18×1 ³ / ₈	WO-2 又は SS	37	476		45			
		WO-3 又は SS	38						
20×1 ³ / ₈ (37-451)	20×1 ³ / ₈	WO-2, 5 又は SS	37	527		50			
		WO-3 又は SS	38						
22×1 ¹ / ₄ (32-501)	22×1 ³ / ₈	WO-2, 5 又は SS	33	569	400				
WO-3 又は SS		34							
22×1 ³ / ₈ (37-501)		WO-2, 5 又は SS	37	577	300	55			
		WO-3 又は SS	38						
22×1 ¹ / ₂ (40-501)		WO-2, 5 又は SS	39	581	250	60			
		WO-3 又は SS	40						
22×1 ³ / ₄ (47-501)		WO-2, 5 又は SS	45	593	300	60			
		WO-3 又は SS	46						
24×1 ³ / ₈ (37-540)	24×1 ³ / ₈	WO-2, 5 又は SS	37	616	300	60			
		WO-3 又は SS	38						
25×1 ³ / ₈ (37-565)	25×1 ³ / ₈	WO-5 又は SS	37	641	400	65			
		WO-3 又は SS	38						
26×1 ¹ / ₄ (32-597)	26×1 ¹ / ₄	WO-2 又は SS	33	663	300	70			
		WO-4 又は SS	32						
26×1 ³ / ₈ (37-590)	26×1 ³ / ₈	WO-2 又は SS	39	664	300	70			
WO-3 又は SS		40							
26×1 ¹ / ₂ (40-584)	26×1 ¹ / ₂	WO-2 又は SS	42	670	300	70			
WO-3 又は SS		43							
26×1 ⁵ / ₈ (44-584)		WO-2 又は SS	42				670	300	70
WO-3 又は SS		43							
27×1 (25-630)	27×1 ¹ / ₄	WO-4, SS 又は CT	25	680	700				
27×1 ¹ / ₈ (28-630)			28	686	600				
27×1 ¹ / ₄ (32-630)			32	694	500				
700×25C (25-622)			25	672	700				
700×28C (28-622)			28	678	600				
700×32C (32-622)			32	686	500				
27×1 ³ / ₈ (37-630)	27×1 ³ / ₈	WO-2 又は SS	37	704	300	75			
28×1 ³ / ₈ (37-642)	28×1 ³ / ₈		37	716					
注記 1 () 内のタイヤの呼びは、対応国際規格に規定された呼びで、タイヤ幅の呼び-リム径の呼びを示す。 注記 2 適用リムとして SS リムを用いる場合は、リムの呼び幅が WO リムの規定リム幅の近似値のものを用いる。									

表 2－ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤの諸元

タイヤの呼び	適用リム		設計寸法		標準空気圧 kPa	最大負荷 (質量) kg			
	呼び	形式	タイヤ総幅 mm	タイヤ外径 mm					
16×1 ³ / ₈ (37-349)	16×1 ³ / ₈	WO-2	37	425	300	40			
		WO-3	38						
18×1 ³ / ₈ (37-400)	18×1 ³ / ₈	WO-2	37	476		45			
		WO-3	38						
20×1 ³ / ₈ (37-451)	20×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	37	527		50			
		WO-3	38						
22×1 ¹ / ₄ (32-501)	22×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	33	569	400				
		WO-3	34						
22×1 ³ / ₈ (37-501)	22×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	37	577	300	55			
		WO-3	38						
22×1 ¹ / ₂ (40-501)	22×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	39	581	250	60			
		WO-3	40						
22×1 ³ / ₄ (47-501)	22×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	45	593	300	60			
		WO-3	46						
24×1 ³ / ₈ (37-540)	24×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	37	616	300	60			
		WO-3	38						
25×1 ³ / ₈ (37-565)	25×1 ³ / ₈	WO-5	37	641	400	65			
		WO-3	38						
26×1 ¹ / ₄ (32-597)	26×1 ¹ / ₄	WO-2	33	663	300	70			
		WO-4	32						
26×1 ³ / ₈ (37-590)	26×1 ³ / ₈	WO-2 又は 5	37	666	300	70			
WO-3		38							
26×1 ¹ / ₂ (40-584)	26×1 ¹ / ₂	WO-2	39	664	300	70			
WO-3		40							
26×1 ⁵ / ₈ (44-584)		WO-2	42				670	300	70
WO-3		43							
27×1 (25-630)	27×1 ¹ / ₄	WO-4	25	680	700				
27×1 ¹ / ₈ (28-630)			28	686	600				
27×1 ¹ / ₄ (32-630)			32	694	500				
700×25C (25-622)			25	672	700				
700×28C (28-622)			28	678	600				
700×32C (32-622)			32	686	500				
27×1 ³ / ₈ (37-630)	27×1 ³ / ₈	WO-2	37	704	300	75			
28×1 ³ / ₈ (37-642)	28×1 ³ / ₈		37	716					
注記 () 内のタイヤの呼びは、対応国際規格に規定された呼びで、“(タイヤ幅の公称値) - (公称リム径)”を示す。									

67

表 2－HE タイヤ

タイヤの呼び	適用リム	設計寸法	標準空気圧	最大負荷
--------	------	------	-------	------

表 3－フックドビードリムに取り付ける“ビードドエッジ”タイヤの諸元

タイヤの呼び	適用リム		設計寸法		標準空気圧 kPa	最大負荷 (質量)
	呼び	形式 ^{a)}	タイヤ総幅	タイヤ外径		

			呼び	形式	タイヤの総幅 mm	タイヤの外径 mm	kPa	(質量) kg					mm	mm		kg						
		12.5×2.25 又は 12 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₄	12 ¹ / ₂ ×2 ¹ / ₄	HE-1 又は HB	57	320	250	40					57	320	250	40						
		14×1.50	14×1.75		40	340							40	340								
			14×1.50	HE-5 又は HB	38								38									
		14×1.75	14×1.75	HE-1 又は HB	45	349		45					45	349		45						
			14×1.50	HE-5 又は HB	43								43									
		16×1.50	16×1.75	HE-1 又は HB	40	391							40	391								
			16×1.50	HE-5 又は HB	38								38									
		16×1.75	16×1.75	HE-1 又は HB	45	400		50					45	400		50						
			16×1.50	HE-5 又は HB	43								43									
		18×1.50	18×1.75	HE-1 又は HB	40	441		55					40	441		55						
			18×1.50	HE-5 又は HB	38								38									
		18×1.75	18×1.75	HE-1 又は HB	45	450		60					45	450		60						
			18×1.50	HE-5 又は HB	43								43									
		20×1.50	20×1.75	HE-1 又は HB	40	492							40	492								
			20×1.50	HE-5 又は HB	38								38									
		20×1.75	20×1.75	HE-1 又は HB	45	501		65					45	501		65						
			20×1.50	HE-5 又は HB	43								43									
		20×2.125	20×1.75	HE-1 又は HB	54	517		70					54	517		70						
		22×1.75	22×1.75		45	552							45	552								
			22×1.50	HE-5 又は HB	43								43									
		24×1.50	24×1.75	HE-1 又は HB	40	594		75					40	594		75						
		24×1.75			45	603		80					45	603		80						
		26×1.50	26×1.75		40	645		40					645	85								
		26×1.75			45	654		85					45			654						
		26×2.125			54	674		90					54	674		90						
		注 ^{a)} 適用リムとしてフックドビードリムを用いる場合は、公称リム幅の記号がフックドエッジリムの規定リム幅と同値又は近似値のものを用いる。																				

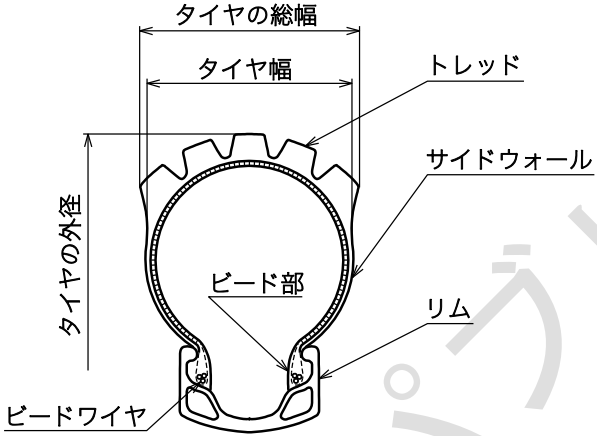
68	表 3－BE タイヤ							表 4－運搬車用ビーデッドエッジタイヤの諸元																
	タイヤの呼び	適用リム		設計寸法		標準空気圧	最大負荷 (質量)		タイヤの呼び	適用リム		設計寸法		標準空気圧	最大負荷 (質量)									
		呼び	種類又は形式	タイヤの総幅 mm	タイヤの外径 mm	kPa	kg			呼び	種類又は形式	タイヤ総幅 mm	タイヤ外径 mm	kPa	kg									
	26×1 ³ / ₈	26×1 ³ / ₈	BE-1	39	668	300	70		26×1 ³ / ₈	26×1 ³ / ₈	BE-1	39	668	300	70									
	26×1 ³ / ₄	26×1 ³ / ₄		46	685		100		26×1 ³ / ₄	26×1 ³ / ₄		46	685		100									
	26×1 ³ / ₄ 4PR						110		26×1 ³ / ₄ 4PR						110									
	26×2	26×2	BE	52	698	350	130		26×2	26×2	BE	52	698	350	130									
	26×2 4PR						150		26×2 4PR						150									
	26×2 ¹ / ₂	26×2 ¹ / ₂	BE	70	700	300	180		26×2 ¹ / ₂	26×2 ¹ / ₂	BE	70	700	300	180									
	26×2 ¹ / ₂ 4PR					350	210		26×2 ¹ / ₂ 4PR					350	210									
	26×3 4PR	26×3		80	687	300	250																	
69	6 タイヤの寸法													7 タイヤの寸法										
70														7.1 ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤ										
71														7.1.1 タイヤの寸法及び各部の名称 タイヤの寸法及び各部の名称を図 2 に示す。										
72														7.1.2 タイヤの設計値										
73														7.1.2.1 設計リム幅 それぞれのタイヤの寸法の呼びには、表 5 に示すタイヤ幅の公称値 S _N に基づいて規定された設計リム幅 R _{design} がある。										

74		表 5ー設計リム幅 単位 mm <table><tr><th>タイヤ幅の公称値 S_N</th><th>設計リム幅 R_{design}</th></tr><tr><td>18～21</td><td>15</td></tr><tr><td>22～24</td><td>17</td></tr><tr><td>25～28</td><td>19</td></tr><tr><td>29～34</td><td>21</td></tr><tr><td>35～46</td><td>23</td></tr><tr><td>47～57</td><td>25</td></tr><tr><td>58～65</td><td>30</td></tr><tr><td>66～71</td><td>35</td></tr><tr><td>72～83</td><td>45</td></tr><tr><td>84～95</td><td>55</td></tr><tr><td>96～113</td><td>76</td></tr><tr><td>114～132</td><td>94</td></tr></table>	タイヤ幅の公称値 S_N	設計リム幅 R_{design}	18～21	15	22～24	17	25～28	19	29～34	21	35～46	23	47～57	25	58～65	30	66～71	35	72～83	45	84～95	55	96～113	76	114～132	94
タイヤ幅の公称値 S_N	設計リム幅 R_{design}																											
18～21	15																											
22～24	17																											
25～28	19																											
29～34	21																											
35～46	23																											
47～57	25																											
58～65	30																											
66～71	35																											
72～83	45																											
84～95	55																											
96～113	76																											
114～132	94																											
75		7.1.2.2 タイヤ外径の設計値 タイヤ外径の設計値 $D_{\text{o,design}}$ は、式(1)を用いて算出してもよい。																										
76		$D_{\text{o,design}} = D_{\text{R}} + 2 \times H_{\text{design}} \quad \cdots \cdots (1)$																										
77		タイヤ高さの設計値 H_{design} は、式(2)による。																										
78		$H_{\text{design}} = \sqrt{\left(\frac{S_N}{2}\right)^2 - \left(\frac{R_{\text{m}}}{2}\right)^2} + \frac{S_N}{2} + G_{\text{f}} + X_{\text{corr,tread}} \quad \cdots \cdots (2)$ ここで、 G_{f} ： 理論フランジ高さ（定数 6.0 mm） $X_{\text{corr,tread}}$ ： トレッド補正係数（mm）（表 6 参照）																										
79		注記 式(2)における理論フランジ高さ G_{f} は、理論上のフランジ高さを表し、あらゆる種類のリムにおいてタイヤ外径 D_{o} が一定となるようにするための定数である。																										
80		トレッド補正係数 $X_{\text{corr,tread}}$ の数値は、表 6 のタイヤ幅の公称値 S_N に応じて与えられる。																										
81		表 6ートレッド補正係数のタイヤ幅の公称値に対する依存性 単位 mm <table><tr><th>タイヤ幅の公称値 S_N</th><th>トレッド補正係数 $X_{\text{corr,tread}}$</th></tr><tr><td>18～49</td><td>2.0</td></tr><tr><td>50～132</td><td>3.0</td></tr></table>	タイヤ幅の公称値 S_N	トレッド補正係数 $X_{\text{corr,tread}}$	18～49	2.0	50～132	3.0																				
タイヤ幅の公称値 S_N	トレッド補正係数 $X_{\text{corr,tread}}$																											
18～49	2.0																											
50～132	3.0																											
82		7.1.2.3 タイヤ幅の設計値 設計リムに取り付けられたタイヤの場合、タイヤ幅の設計値 S_{design} はタイヤ幅の公称値 S_N に等しい。 設計リムとは別の測定リムに装着されているタイヤ幅の設計値 S_{design} は、式(3)によって算出する。																										
83		$S_{\text{design}} = S_N + 0.4 \times (R_{\text{m}} - R_{\text{design}}) \quad \cdots \cdots (3)$																										
84		7.1.3 寸法の仕様																										
85		7.1.3.1 タイヤ幅及びタイヤ総幅の許容範囲 7.4.3 に従って測定したタイヤ幅及びタイヤ総幅は、表 7 に示す範囲内とする。表 7 に示すタイヤ幅の最小値 S_{min} の範囲は、タイヤ幅の公称値 S_N が 70 mm 未満の場合は式(4)、70 mm 以上の場合は式(5)により算出する。 表 7 に示すタイヤ総幅の最大値 W_{max} の範囲は、タイヤ幅の公称値 S_N が 70 mm 未満の場合は式(6)、70 mm 以上の場合は式(7)により算出する。																										
86		$S_{\text{min}} = S_{\text{design}} - a \cdot S_N \quad \cdots \cdots (4)$ ここで、 a ： S_{min} を求めるための係数 (S_N が 34 mm 以下のときは 0.06, 34 mm																										

		を超えるときは 0.05)																																																																																																																																																																																																																																																																															
87		$S_{\min} = S_{\text{design}} - 4$(5)																																																																																																																																																																																																																																																																															
88		$W_{\max} = S_{\text{design}} + a \cdot S_N$(6) ここで, a : $W_{\max}$ を求めるための係数 (S_N が 34 mm 以下のときは 0.06, 34 mm を超えるときは 0.05)																																																																																																																																																																																																																																																																															
89		$W_{\max} = S_{\text{design}} + 4$(7)																																																																																																																																																																																																																																																																															
90		タイヤ幅の最小値 $S_{\min}$ 及びタイヤ総幅の最大値 $W_{\max}$ の数値は, 最も近い整数に丸める。																																																																																																																																																																																																																																																																															
91		表 7—タイヤ幅及びタイヤ総幅の許容範囲 単位 mm <table><tr><th>タイヤ幅の公称値 S_N</th><th>タイヤ幅の最小値 $S_{\min}$</th><th>タイヤ総幅の最大値 $W_{\max}$</th></tr><tr><td>15～24</td><td>$S_{\text{design}} - 1$</td><td>$S_{\text{design}} + 1$</td></tr><tr><td>25～49</td><td>$S_{\text{design}} - 2$</td><td>$S_{\text{design}} + 2$</td></tr><tr><td>50～69</td><td>$S_{\text{design}} - 3$</td><td>$S_{\text{design}} + 3$</td></tr><tr><td>70 以上</td><td>$S_{\text{design}} - 4$</td><td>$S_{\text{design}} + 4$</td></tr></table>	タイヤ幅の公称値 S_N	タイヤ幅の最小値 $S_{\min}$	タイヤ総幅の最大値 $W_{\max}$	15～24	$S_{\text{design}} - 1$	$S_{\text{design}} + 1$	25～49	$S_{\text{design}} - 2$	$S_{\text{design}} + 2$	50～69	$S_{\text{design}} - 3$	$S_{\text{design}} + 3$	70 以上	$S_{\text{design}} - 4$	$S_{\text{design}} + 4$																																																																																																																																																																																																																																																																
タイヤ幅の公称値 S_N	タイヤ幅の最小値 $S_{\min}$	タイヤ総幅の最大値 $W_{\max}$																																																																																																																																																																																																																																																																															
15～24	$S_{\text{design}} - 1$	$S_{\text{design}} + 1$																																																																																																																																																																																																																																																																															
25～49	$S_{\text{design}} - 2$	$S_{\text{design}} + 2$																																																																																																																																																																																																																																																																															
50～69	$S_{\text{design}} - 3$	$S_{\text{design}} + 3$																																																																																																																																																																																																																																																																															
70 以上	$S_{\text{design}} - 4$	$S_{\text{design}} + 4$																																																																																																																																																																																																																																																																															
92		7.1.3.2 タイヤ外径の最大値 タイヤ外径 D_o は, タイヤ外径の最大値 $D_{o,\max}$ 未満の寸法とする。所定の公称リム径 D_R 及びタイヤ幅の公称値 S_N に対するタイヤ外径の最大値 $D_{o,\max}$ は, タイヤ幅の公称値 S_N が 66 mm 未満のときは式(8), 66 mm 以上のときは式(9)を用いて決定するものとし, 最も近い整数に丸める。																																																																																																																																																																																																																																																																															
93		$D_{o,\max}=D_R + 2.15 \cdot S_N + 12 \quad (S_N < 66)$(8)																																																																																																																																																																																																																																																																															
94		$D_{o,\max}=130 \cdot \ln(S_N) + D_R - 392 \quad (S_N \geq 66)$(9)																																																																																																																																																																																																																																																																															
95		7.1.4 推奨リム幅 表 8 は, 所定のタイヤ幅の公称値 S_N に対して, 使用時に許容されるリム幅を示す。 注記 1 設計リム幅 R_{design} と異なるリムにタイヤを取り付ける場合, タイヤ幅は設計値と異なることがある。このタイヤ幅の差は, リム幅の差に 0.4 を乗じることによって推定可能である。 注記 2 リムの寸法及びビードシートの特性は JIS D 9421 に記載されている。																																																																																																																																																																																																																																																																															
96		表 8—推奨リム幅 単位 mm <table><tr><th rowspan="3">タイヤ幅 の公称値 S_N</th><th colspan="20">リム幅 mm</th></tr><tr><td>13 ～ 14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18 ～ 20</td><td>21 ～ 22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26 ～ 27</td><td>28 ～ 30</td><td>31 ～ 35</td><td>36 ～ 40</td><td>41 ～ 43</td><td>44 ～ 53</td><td>54 ～ 58</td><td>59 ～ 64</td><td>65 ～ 71</td><td>72 ～ 89</td><td>90 ～ 100</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>18～19</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>20～21</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22～24</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>25～27</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>28～28</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>29～34</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>35～46</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>47～57</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>58～65</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>66～71</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	タイヤ幅 の公称値 S_N	リム幅 mm																				13 ～ 14	15	16	17	18 ～ 20	21 ～ 22	23	24	25	26 ～ 27	28 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 43	44 ～ 53	54 ～ 58	59 ～ 64	65 ～ 71	72 ～ 89	90 ～ 100																					18～19	○	○																			20～21	○	○	○	○																	22～24	○	○	○	○	○																25～27	○	○	○	○	○	○															28～28		○	○	○	○	○	○														29～34			○	○	○	○	○	○	○												35～46				○	○	○	○	○	○	○											47～57				○	○	○	○	○	○	○	○										58～65						○	○	○	○	○	○	○									66～71									○	○	○	○	○	○						
タイヤ幅 の公称値 S_N	リム幅 mm																																																																																																																																																																																																																																																																																
	13 ～ 14	15		16	17	18 ～ 20	21 ～ 22	23	24	25	26 ～ 27	28 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 43	44 ～ 53	54 ～ 58	59 ～ 64	65 ～ 71	72 ～ 89	90 ～ 100																																																																																																																																																																																																																																																												
18～19	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																															
20～21	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																													
22～24	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																												
25～27	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																											
28～28		○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																										
29～34			○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																								
35～46				○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																							
47～57				○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																						
58～65						○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																					
66～71									○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																			

		<table><tr><td>72～83</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>84～95</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>96～113</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>114～132</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table>	72～83																○	○		○							84～95																		○	○	○						96～113																					○	○	○			114～132																							○	○	
72～83																○	○		○																																																																																							
84～95																		○	○	○																																																																																						
96～113																					○	○	○																																																																																			
114～132																							○	○																																																																																		
97		7.2 フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤ																																																																																																								
98		7.2.1 タイヤの寸法及び各部の名称 タイヤの寸法及び各部の名称を図 3 に示す。																																																																																																								
99		7.2.2 タイヤの設計値																																																																																																								
100		7.2.2.1 測定リム幅及び設計値 表 9 に、所定のタイヤ幅の公称値の記号に対する、測定リム幅 R_m 、タイヤ幅の設計値 S_{design} 及びタイヤ高さの設計値 H_{design} を示す。																																																																																																								
101		表 9ーフックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤの測定リム幅及び設計値 単位 mm <table><tr><th rowspan="2">タイヤ幅の公称値の記号</th><th rowspan="2">測定リム幅 R_m</th><th colspan="2">タイヤの設計値</th></tr><tr><th>タイヤ幅の設計値 S_{design}</th><th>タイヤ高さの設計値 ^{a)} H_{design}</th></tr><tr><td>1.25</td><td>20</td><td>32</td><td>28</td></tr><tr><td>1.375</td><td>20</td><td>35</td><td>31</td></tr><tr><td>1.75</td><td>25</td><td>44</td><td>39</td></tr><tr><td>2.125</td><td>27</td><td>54</td><td>48</td></tr></table> 注 ^{a)} タイヤ高さの設計値 H_{design} は、タイヤ幅の設計値 S_{design} の 0.88 倍を整数に丸めた値に等しい。	タイヤ幅の公称値の記号	測定リム幅 R_m	タイヤの設計値		タイヤ幅の設計値 S_{design}	タイヤ高さの設計値 ^{a)} H_{design}	1.25	20	32	28	1.375	20	35	31	1.75	25	44	39	2.125	27	54	48																																																																																		
タイヤ幅の公称値の記号	測定リム幅 R_m	タイヤの設計値																																																																																																								
		タイヤ幅の設計値 S_{design}	タイヤ高さの設計値 ^{a)} H_{design}																																																																																																							
1.25	20	32	28																																																																																																							
1.375	20	35	31																																																																																																							
1.75	25	44	39																																																																																																							
2.125	27	54	48																																																																																																							
102		7.2.2.2 タイヤ外径の設計値 タイヤ外径の設計値 $D_{\text{o,design}}$ は、式(10)に示すように、リム外径 D_2 （JIS D 9421 参照）にタイヤ高さの設計値 H_{design} の 2 倍を加えた値に等しいものとする。																																																																																																								
103		$D_{\text{o,design}}=D_2+2H_{\text{design}} \quad \cdots \cdots \cdots (10)$ ここで、D_2： リム外径（mm）																																																																																																								
104		7.2.3 使用時におけるタイヤの最大寸法の算出																																																																																																								
105		7.2.3.1 一般 7.2.3.2 及び 7.2.3.3 は、車両製造業者がタイヤのクリアランスの設計に使用するためのものとする。																																																																																																								
106		7.2.3.2 タイヤ総幅の最大値 タイヤ総幅の最大値 W_{max} は、式(11)に示すように、タイヤ幅の設計値 S_{design} に 3 mm を加えた値となる。																																																																																																								
107		$W_{\text{max}} = S_{\text{design}} + 3 \quad \cdots \cdots \cdots (11)$																																																																																																								
108		タイヤ総幅の最大値 W_{max} には、製造許容差及び使用に伴う膨張が含まれる。																																																																																																								
109		7.2.3.3 タイヤ外径の最大値 タイヤ外径の最大値 $D_{\text{o,max}}$ は、式(12)に示すように、リム外径 D_2 （JIS D 9421 参照）に、タイヤ高さの設計値 H_{design} の 2 倍を加え、さらに 6 mm を加えた値に等しい。																																																																																																								
110		$D_{\text{o,max}}=D_2+2H_{\text{design}} + 6 \quad \cdots \cdots \cdots (12)$ ここで、D_2： リム外径（mm）																																																																																																								
111		タイヤ外径の最大値 $D_{\text{o,max}}$ には、製造許容差及び使用に伴う膨張が含まれる。																																																																																																								
112		7.2.4 タイヤ外径の記号の決定 タイヤ外径の記号は、タイヤ外径の設計値 $D_{\text{o,design}}$ の数値を 0.04 倍し、最も近い偶数に丸めた値を表す。																																																																																																								
113		例 $D_{\text{o,design}} = 450$ の場合、タイヤ外径の記号は 18 である。																																																																																																								

114		7.2.5 各寸法値 表 10 に 7.2.2 及び 7.2.3 に従って算出した測定リム幅 R_m 、リム外径の測定値、タイヤ幅の設計値 S_{design} 、タイヤ外径の設計値 $D_{o,\text{design}}$ 、使用時におけるタイヤ総幅の最大値 W_{max} 及びタイヤ外径の最大値 $D_{o,\text{max}}$ の寸法を示す。																																																																																									
115		表 10フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤの リムの測定値、タイヤの設計値及び使用時におけるタイヤの寸法 単位 mm <table><tr><th rowspan="2">タイヤの呼び</th><th colspan="2">リムの測定値</th><th colspan="2">タイヤの設計値</th><th colspan="2">使用時におけるタイヤの寸法</th></tr><tr><th>測定リム幅 R_m</th><th>リム外径の 測定値</th><th>タイヤ幅の 設計値 S_{design}</th><th>タイヤ外径の 設計値 $D_{o,\text{design}}$</th><th>タイヤ総幅の 最大値 W_{max}</th><th>タイヤ外径の 最大値 $D_{o,\text{max}}$</th></tr><tr><td>20 × 1.25</td><td rowspan="3">20</td><td>458.8</td><td rowspan="3">32</td><td>515</td><td rowspan="3">35</td><td>521</td></tr><tr><td>24 × 1.25</td><td>560.4</td><td>616</td><td>622</td></tr><tr><td>26 × 1.25</td><td>611.2</td><td>667</td><td>673</td></tr><tr><td>20 × 1.375</td><td rowspan="3">20</td><td>458.8</td><td rowspan="3">35</td><td>521</td><td rowspan="3">38</td><td>527</td></tr><tr><td>24 × 1.375</td><td>560.4</td><td>622</td><td>628</td></tr><tr><td>26 × 1.375</td><td>611.2</td><td>673</td><td>679</td></tr><tr><td>16 × 1.75</td><td rowspan="6">25</td><td>320.7</td><td rowspan="6">44</td><td>399</td><td rowspan="6">47</td><td>405</td></tr><tr><td>18 × 1.75</td><td>371.5</td><td>449</td><td>455</td></tr><tr><td>20 × 1.75</td><td>422.3</td><td>500</td><td>506</td></tr><tr><td>22 × 1.75</td><td>473.1</td><td>551</td><td>557</td></tr><tr><td>24 × 1.75</td><td>523.9</td><td>602</td><td>608</td></tr><tr><td>26 × 1.75</td><td>574.7</td><td>653</td><td>659</td></tr><tr><td>16 × 2.125</td><td rowspan="4">27</td><td>320.7</td><td rowspan="4">54</td><td>417</td><td rowspan="4">57</td><td>423</td></tr><tr><td>20 × 2.125</td><td>422.3</td><td>518</td><td>524</td></tr><tr><td>24 × 2.125</td><td>523.9</td><td>620</td><td>626</td></tr><tr><td>26 × 2.125</td><td>574.7</td><td>671</td><td>677</td></tr></table>	タイヤの呼び	リムの測定値		タイヤの設計値		使用時におけるタイヤの寸法		測定リム幅 R_m	リム外径の 測定値	タイヤ幅の 設計値 S_{design}	タイヤ外径の 設計値 $D_{o,\text{design}}$	タイヤ総幅の 最大値 W_{max}	タイヤ外径の 最大値 $D_{o,\text{max}}$	20 × 1.25	20	458.8	32	515	35	521	24 × 1.25	560.4	616	622	26 × 1.25	611.2	667	673	20 × 1.375	20	458.8	35	521	38	527	24 × 1.375	560.4	622	628	26 × 1.375	611.2	673	679	16 × 1.75	25	320.7	44	399	47	405	18 × 1.75	371.5	449	455	20 × 1.75	422.3	500	506	22 × 1.75	473.1	551	557	24 × 1.75	523.9	602	608	26 × 1.75	574.7	653	659	16 × 2.125	27	320.7	54	417	57	423	20 × 2.125	422.3	518	524	24 × 2.125	523.9	620	626	26 × 2.125	574.7	671	677
タイヤの呼び	リムの測定値			タイヤの設計値		使用時におけるタイヤの寸法																																																																																					
	測定リム幅 R_m	リム外径の 測定値	タイヤ幅の 設計値 S_{design}	タイヤ外径の 設計値 $D_{o,\text{design}}$	タイヤ総幅の 最大値 W_{max}	タイヤ外径の 最大値 $D_{o,\text{max}}$																																																																																					
20 × 1.25	20	458.8	32	515	35	521																																																																																					
24 × 1.25		560.4		616		622																																																																																					
26 × 1.25		611.2		667		673																																																																																					
20 × 1.375	20	458.8	35	521	38	527																																																																																					
24 × 1.375		560.4		622		628																																																																																					
26 × 1.375		611.2		673		679																																																																																					
16 × 1.75	25	320.7	44	399	47	405																																																																																					
18 × 1.75		371.5		449		455																																																																																					
20 × 1.75		422.3		500		506																																																																																					
22 × 1.75		473.1		551		557																																																																																					
24 × 1.75		523.9		602		608																																																																																					
26 × 1.75		574.7		653		659																																																																																					
16 × 2.125	27	320.7	54	417	57	423																																																																																					
20 × 2.125		422.3		518		524																																																																																					
24 × 2.125		523.9		620		626																																																																																					
26 × 2.125		574.7		671		677																																																																																					
116		7.3 フックドビードリム及びストレートサイドタイプリムに取付可能なタイヤ																																																																																									
117		7.3.1 タイヤの呼び 特殊構造のタイヤは、同径のフックドビードリム及びストレートサイドタイプリムに取り付けることができるように設計することが可能である。この場合、タイヤには、両方の種類のタイヤの呼びを、斜線で区切って表示しなければならない。																																																																																									
118		例 20 × 1.375 / 35 – 406																																																																																									
119		7.3.2 使用時におけるタイヤの最大寸法 使用時におけるタイヤの最大寸法は、適切なリムに取り付けた場合、それぞれのタイヤの呼びの寸法に適合しなければならない。																																																																																									
120		7.4 使用時におけるタイヤの寸法																																																																																									
121	6.1 タイヤの総幅 使用時におけるタイヤの総幅は 6.3 によって測定し、 表 1 ～ 表 3 に規定する設計寸法のタイヤの総幅に対する増加量が 3 mm を超えてはならない。	7.4.1 タイヤ総幅 ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤ及び運搬車用ビーデッドエッジタイヤの使用時におけるタイヤ総幅は 7.4.3 によって測定し、 表 2 及び 表 4 に規定する設計寸法のタイヤ総幅に対する増加量が 3 mm を超えてはならない。 注記 1 ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤについては 7.1.3.1 を参照。 注記 2 フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤについては 7.2.3.2 を参照。																																																																																									

122	6.2 タイヤの外径 使用時におけるタイヤの外径は 6.3 によって測定し、 表 1 ～ 表 3 に規定する設計寸法のタイヤの外径に対する増加量が 6 mm を超えてはならない。	7.4.2 タイヤ外径 ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤ及び運搬車用ビーデッドエッジタイヤの使用時におけるタイヤ外径は 7.4.3 によって測定し、 表 2 及び 表 4 に規定する設計寸法のタイヤ外径に対する増加量が 6 mm を超えてはならない。 注記 1 ストレートサイドタイプリム又はクロchetteタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤについては 7.1.3.2 を参照。 注記 2 フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤについては 7.2.3.3 を参照。
123	6.3 使用時におけるタイヤの寸法測定	7.4.3 使用時におけるタイヤの寸法測定
124	タイヤの寸法測定は、 表 1 ～ 表 3 の適用リムにタイヤを装着し、表示空気圧を充填してから 24 時間経過後、再び表示空気圧に調整し、負荷を加えない状態で行う。表示空気圧に範囲が示されている場合は、最大値で行う。	7.4.3.1 タイヤの寸法測定時に取り付けるリム 使用時におけるタイヤの寸法測定は、 表 1 から 表 4 の適用リム又は測定リムにタイヤを取り付けて実施する。ただし、ストレートサイドタイプリム又はクロchetteタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤの測定リムは、 7.1.3 への適合性を確認するため、 表 5 に示す設計リム幅 R_{design} をもつものとする。推奨されるリム幅は 表 8 による。測定リムは、 JIS D 9421 に適合するものとする。
125		7.4.3.2 タイヤの寸法測定前の準備 タイヤに表示空気圧を充填してから 24 時間以上静置後、再び表示空気圧に調整し、負荷を加えない状態で行う。表示空気圧に範囲が示されている場合は、最大値で行う。適用リム又は測定リムに最大空気圧が規定されている場合、システム最大空気圧まで空気を入れ、室温で 24 時間以上静置する。 空気圧が元の数値より 10 %を超えて低下する場合は、測定を進めない。タイヤに“チューブレス”又は“チューブレスレディ”と表示されている場合、インナーチューブなしで測定してもよい。
126	タイヤの外径は、ノギスで測定するか又は鋼製巻尺でタイヤの外周を測り、その数値を π ($=3.14$) で除して求める。タイヤの総幅は、ノギスで測定する (図 1 ～ 図 4 参照)。	7.4.3.3 タイヤの寸法測定の方法 タイヤ幅及びタイヤ総幅は、タイヤ周方向のほぼ等間隔の少なくとも 4 か所を、ノギスで測定する。これらの測定値の平均をタイヤ幅及びタイヤ総幅として記録する。 タイヤ外径は、次のいずれかの方法により求める。
127		a) ノギスで測定する。
128		b) 鋼製巻尺でタイヤの外周を測り、その数値を π ($=3.1416$) で除す。
129	 図 4—タイヤの寸法測定 (HE タイヤ) の一例	
130	7 品質	8 品質
131	7.1 外観 タイヤの外観は、形状、肉厚ともに均整で、きず、気泡、ゴム割れ、ゴム流れ不良及び異物混入による有害な欠点がなく、 表 1 ～ 表 3 に規定する適用リム又は受渡当事者間の協定によるリムに装着したとき、著しい振れがないものでなければならない。	8.1 外観 タイヤの外観は、形状、肉厚ともに均整で、きず、気泡、ゴム割れ、ゴム流れ不良及び異物混入による有害な欠点がなく、 表 1 から 表 4 に規定する適用リム又は受渡当事者間の協定によるリムに装着したとき、著しい振れがないものでなければならない。
132	7.2 性能 タイヤの性能は、自転車用タイヤ及び運搬車用タイヤに区分し、簡条 8 によって試験し、 表 4 又は 表 5 の規定に適合しなければならない。	8.2 性能 タイヤの性能は、自転車用タイヤ及び運搬車用タイヤに区分し、 簡条 9 によって試験する。自転車用タイヤは 表 11 の規定に、運搬車用タイヤは 表 12 の規定に適合しなければならない。

134

表 5ー運搬車用タイヤの性能									
項目		試験	性能					試験箇条	
トレッドゴムの引張強さ		トレッドゴムの引張試験	8.0 MPa 以上					8.1	
			300 %以上						
トレッドゴムの伸び									
耳ゴムの耐わん曲性 ^{a)}		耳ゴムのわん曲試験	折損してはならない					8.2	
ビードワイヤの引張強さ ^{b)}		ビードワイヤの引張試験	3.2 kN 以上					8.3	
裏布の引張強さ		裏布の引張試験	タイヤの呼び	幅 1¾ (又は 1.75) 以上	2 PR	50.0 N/mm 以上	8.4		
				幅 2½ (又は 2.50) 未満のもの	4 PR	32.0 N/mm 以上			
				幅 2½ (又は 2.50) 以上のもの	2 PR	50.0 N/mm 以上			
					4 PR	40.0 N/mm 以上			
					6 PR	32.0 N/mm 以上			
密着強さ		剥離試験	ゴム及び布間		2.0 N/mm 以上			8.5	
			布及び布間		3.0 N/mm 以上				
破壊エネルギー		ブランジャー試験	タイヤの呼び	幅 1¾ (又は 1.75) 以上	2 PR	10.0 J 以上	8.6		
				幅 2½ (又は 2.50) 未満のもの	4 PR	12.0 J 以上			
				幅 2½ (又は 2.50) 以上のもの	2 PR	10.0 J 以上			
					4 PR	16.0 J 以上			
					6 PR	20.0 J 以上			
注 ^{a)} BE タイヤに適用する。 ^{b)} WO タイヤに適用する。									

表 12ー運搬車用 ビードッドエッジタイヤの性能

項目		試験	性能					試験箇条	
トレッドゴムの引張強さ		トレッドゴムの引張試験	8.0 MPa 以上					9.2	
			350 %以上						
トレッドゴムの切断時伸び									
耳ゴムの耐わん曲性		耳ゴムのわん曲試験	折損してはならない					9.3	
ビードワイヤの引張強さ		ビードワイヤの引張試験	3.2 kN 以上					9.4	
プライの引張強さ		プライの引張試験	タイヤの呼び	“タイヤ幅の呼び”が 1¾ (又は 1.75) 以上	2 PR	50.0 N/mm 以上	9.5		
				“タイヤ幅の呼び”が 2½ (又は 2.50) 未満のもの	4 PR	32.0 N/mm 以上			
				“タイヤ幅の呼び”が 2½ (又は 2.50) 以上のもの	2 PR	50.0 N/mm 以上			
					4 PR	40.0 N/mm 以上			
					6 PR	32.0 N/mm 以上			
密着強さ		剥離試験	ゴム及び布間		2.0 N/mm 以上			9.6	
			布及び布間		3.0 N/mm 以上				
破壊エネルギー		ブランジャー試験	タイヤの呼び	“タイヤ幅の呼び”が 1¾ (又は 1.75) 以上	2 PR	10.0 J 以上	9.7		
				“タイヤ幅の呼び”が 2½ (又は 2.50) 未満のもの	4 PR	12.0 J 以上			
				“タイヤ幅の呼び”が 2½ (又は 2.50) 以上のもの	2 PR	10.0 J 以上			
					4 PR	16.0 J 以上			
					6 PR	20.0 J 以上			

8 試験方法

9 試験方法

9.1 試験室の標準温度

試験室の標準温度は、JIS K 6250 の 6.1 (試験室の標準温度) による。試験室の標準温度は、(23±2)℃とする。

9.2 トレッドゴムの引張試験

JIS K 6251 に規定する方法によってダンベル状 3 号形試験片を用いて試験し、引張強さ及び切断時伸びを測定する。ただし、試験片は試料から剥ぎ取ったトレッドゴムの接地部からタイヤの円周方向に採取する。試験室の標準温度は、9.1 による。

9.3 耳ゴムのわん曲試験

試料から試験片として長さ約 100 mm の耳ゴムを注意深く剥がし取り、試験片のタイヤ内壁に接する耳ゴムの底面の中央部を、試験片の長さの方向に直角に置いた直径 10 mm の丸棒に沿い、徐々に直角になるまでわん曲させ、そのまま 1 分間保持し、損傷が起こるかどうかを調べる。試験室の標準温度は、9.1 による。

9.4 ビードワイヤの引張試験

ビードワイヤの引張試験は、次による。

a) 硬鋼線の場合

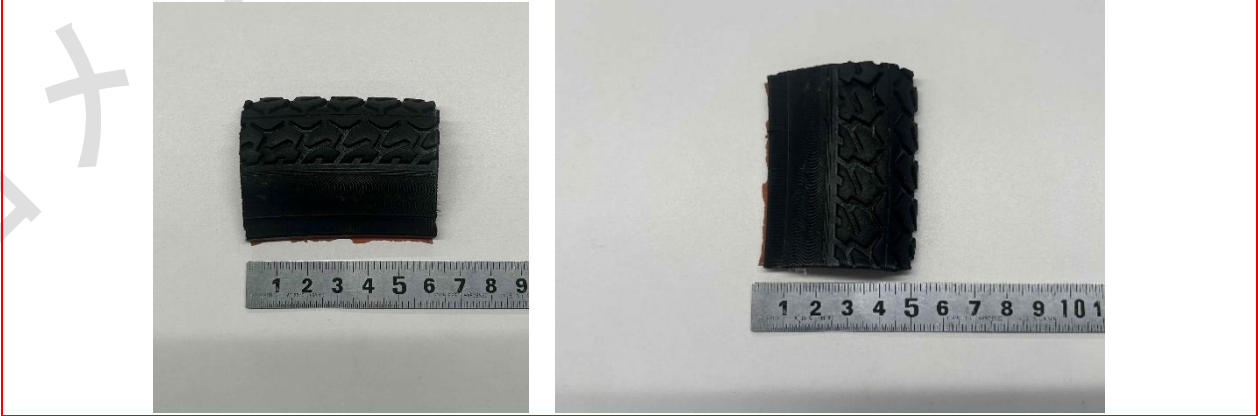
試料が 1 線からなるものは、接合部が中央に位置するように、長さ約 200 mm のビードワイヤを採り、JIS Z 2241 に規定する方法によって行う。引張強さは、キロニュートン (kN) で表す。また、試料が 2 線以上からなるものは、重なり合った部分を避け、その 1 線について試験を行い、ビードワイヤの本数を乗じた値で表す。試験結果は、試験片 2 個の測定値の平均値を、JIS Z 8401 によって小数点以下

a) 硬鋼線の場合

試料が 1 線からなるものは、接合部が中央に位置するように、長さ約 200 mm のビードワイヤを採り、JIS Z 2241 に規定する方法によって行う。引張強さは、キロニュートン (kN) で表す。また、試料が 2 線以上からなるものは、重なり合った部分を避け、その 1 線について試験を行い、ビードワイヤの本数を乗じた値で表す。試験結果は、試験片 2 個の測定値の平均値を、JIS Z 8401 によって小数点以下

	1 桁に丸める。	1 桁に丸める。
141	b) アラミド繊維の場合 JIS L 1017 の 8.5 a) (標準時試験) に規定する方法によって行う。引張強さは、キロニュートン (kN) で表す。試験結果は、測定値を JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。	b) アラミド繊維の場合 JIS L 1017 の 8.5 a) (標準時試験) に規定する方法によって行う。引張強さは、キロニュートン (kN) で表す。試験結果は、測定値を JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。
142	8.4 裏布の引張試験	9.5 プライの引張試験
143	裏布がすだれ織の場合は、たて糸の方向から、裏布が平織布の場合は、たて糸及びよこ糸の両方向から、試験片として幅 10 mm の布層 (すだれ織布は最も内側にある層をトレッド部中央下の位置から測定する。) を採り、 JIS B 7721 に規定する等級 1 級以上の引張試験機を用いて、すだれ織の場合は a) 又は b) 、平織布の場合は b) に従い、裏布の引張強さを測定する。引張速さは、毎分 200 mm～300 mm とし、試験片のつかみ具間の距離は 20 mm 以上とする。試験室の標準温度及び標準湿度は、 JIS K 6250 の 6.1 (試験室の標準温度) 及び 6.2 (試験室の標準湿度) による。	プライ がすだれ織の場合は、たて糸の方向から、 プライ が平織布の場合は、たて糸及びよこ糸の両方向から、試験片として幅 10 mm の布層 (すだれ織布は最も内側にある層をトレッド部中央下の位置から測定する。) を採り、 JIS B 7721 に規定する等級 1 級以上の引張試験機を用いて、すだれ織の場合は a) 又は b) 、平織布の場合は b) に従い、 プライ の引張強さを測定する。引張速さは、毎分 200 mm～300 mm とし、試験片のつかみ具間の距離は 20 mm 以上とする。試験室の標準温度は、 9.1 による。
144	a) A 法 幅 10 mm の試験片の各コードが同時に切断したときの最大の引張力を測定し、次の式によって引張強さを算出する。試験結果は、試験片 3 個の測定値の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。	a) A 法 幅 10 mm の試験片の各コードが同時に切断した時の最大の引張力を測定し、 式(13) によって引張強さを算出する。試験結果は、試験片 3 個の測定値の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。
145	$L = \frac{S}{b} \times \frac{P}{PR}$ ここに、 L : 引張強さ (N/mm) S : 引張力の測定値 (N) b : 試験片の幅 (mm) P : 実際のプライ数 PR : プライレーティング	$L = \frac{S}{b} \times \frac{P}{P_R} \dots\dots\dots (13)$ ここで、 L : 引張強さ (N/mm) S : 引張力の測定値 (N) b : 試験片の幅 (mm) P : プライ数 P_R : プライレーティング
146	b) B 法 幅 10 mm の試料の単糸ごとの最大の引張力を測定し、その和 S' を求め、次の式によって引張強さを算出する。試験結果は、すだれ織布の場合は試験片 3 個の平均値、平織布の場合は、たて糸及びよこ糸別に得られた値の各 1 個の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。	b) B 法 幅 10 mm の試料の単糸ごとの最大の引張力を測定し、その和 S' を求め、 式(14) によって引張強さを算出する。試験結果は、すだれ織布の場合は試験片 3 個の平均値、平織布の場合は、たて糸及びよこ糸別に得られた値の各 1 個の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。
147	$L' = \frac{S'}{b} \times \frac{P}{PR}$ ここに、 L' : 引張強さ (N/mm) S' : 単糸引張力の総和値 (N) b : 試料の幅 (mm) P : 実際のプライ数 PR : プライレーティング	$L' = \frac{S'}{b} \times \frac{P}{P_R} \dots\dots\dots (14)$ ここで、 L : 引張強さ (N/mm) S' : 単糸引張力の総和値 (N) b : 試験片の幅 (mm) P : プライ数 P_R : プライレーティング
148	8.5 剥離試験	9.6 剥離試験
149	8.5.1 ゴム及び布間の密着強さ ゴム及び布間の密着強さは、次による。	9.6.1 ゴム及び布間の密着強さ ゴム及び布間の密着強さは、次による。
150	a) すだれ織布の場合は、試料からトレッドゴムに接するすだれ織布層のたて糸の方向に平行に幅約 15 mm の 1 片を採り、その一端で耳部を切り去る。トレッドゴムに接する布層を、トレッドゴムから一部分引き剥がした後、たて糸に直角に測定して幅 10 mm のすだれ織布層を残して両側の余ったすだれ織布の糸を抜き去り、試験片を作製する。この場合その他の布層は、全てトレッドゴムに接する布層に付けた状態とする。なお、平織布の場合は、たて糸及びよこ糸の方向に、すだれ織布の場合と同様に試験片を作製する。	a) すだれ織布の場合は、試料からトレッドゴムに接するすだれ織布層のたて糸の方向に平行に幅約 15 mm の 1 片を採り、その一端で耳部を切り去る。トレッドゴムに接する布層を、トレッドゴムから一部分引き剥がした後、たて糸に直角に測定して幅 10 mm のすだれ織布層を残して両側の余ったすだれ織布の糸を抜き去り、試験片を作製する。この場合その他の布層は、全てトレッドゴムに接する布層に付けた状態とする。なお、平織布の場合は、たて糸及びよこ糸の方向に、すだれ織布の場合と同様に試験片を作製する。
151	b) 次に、トレッドゴムの模様を削り取り、ほぼ平滑にした後、剥離試験機を用い、試験機の一部つかみ具にトレッドゴム側を挟んで毎分 25±2.5 mm の速さで剥離させ、剥離に要した引張力の曲線を自動記録装置によって、その波状各部の頂点 (数値の高い側) の平均値を求め、これを密着強さとする。	b) 次に、トレッドゴムの模様を削り取り、ほぼ平滑にした後、 剥離 試験機を用い、試験機の一部つかみ具にトレッドゴム側を挟んで毎分 25 mm ±2.5 mm の速さで 剥離 させ、 剥離 に要した引張力の曲線を自動記録装置によって、その波状各部の頂点 (数値の高い側) の平均値を求め、これを密着強さとする。
152	c) 密着強さは、N/mm で表し、試験結果は、すだれ織布の場合は試験片 3 個、平織布の場合は 2 個 (たて糸及びよこ糸方向に採った各 1 個) の測定値の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。	c) 密着強さは、 ニュートン毎ミリメートル (N/mm) で表し、試験結果は、すだれ織布の場合は試験片 3 個、平織布の場合は 2 個 (たて糸及びよこ糸方向に採った各 1 個) の測定値の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。

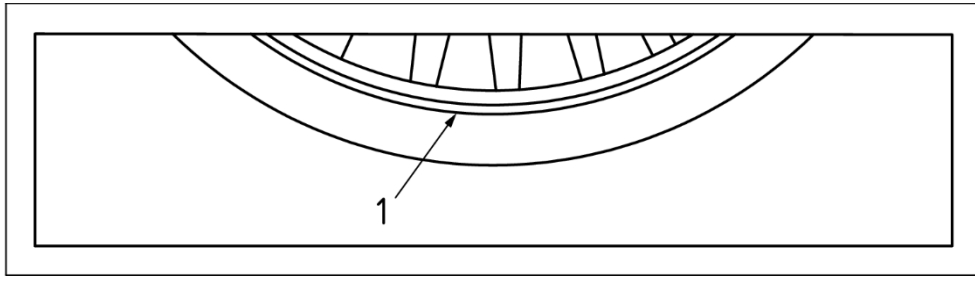
153	d) 試験室の標準温度及び標準湿度は、 JIS K 6250 の 6.1 (試験室の標準温度) 及び 6.2 (試験室の標準湿度) による。	d) 試験室の標準温度は、 9.1 による。
154	8.5.2 布及び布間の密着強さ 試料からすだれ織布第 1 層のたて糸の方向と平行に幅 20 mm の試験片とを切り採り、その一端で両側を残して幅 10 mm のすだれ織第 1 層を一部分引き剥がし、その両側に隣接する糸を 1 本ずつ抜き去る。次にトレッドの模様を削り取ってほぼ平滑にした後、 8.5.1 の場合と同様の方法で試験を行う。 剥離するときは、なるべくすだれ織布第 1 層にゴムを付着させないようにする。	9.6.2 布及び布間の密着強さ 試料からすだれ織布第 1 層のたて糸の方向と平行に幅 20 mm の試験片を切り採り、その一端で両側を残して幅 10 mm のすだれ織第 1 層を一部分引き剥がし、その両側に隣接する糸を 1 本ずつ抜き去る。次にトレッドの模様を削り取ってほぼ平滑にした後、 9.6.1 の場合と同様の方法で試験を行う。 剥離するときは、なるべくすだれ織布第 1 層にゴムを付着させないようにする。 試験室の標準温度は、 9.1 による。
155	8.6 プランジャー試験 試料に同じ呼びのチューブを封入し、タイヤに適合するリムに装着してチューブ内に 350±10 kPa の空気圧を加える。 試験装置は、直径 8.0±0.1 mm で先端が半球状のプランジャーを毎分 50±2.5 mm の速さでタイヤに押し付けることができるものを用いる。 測定はプランジャーをタイヤ軸に垂直に、できるだけタイヤの中央部に近いトレッドパターン突出部に毎分 50 ±2.5 mm の速さで押し付けて行う。次に、タイヤの外周をほぼ 4 等分したそれぞれの位置で、タイヤが破壊する直前の押込み力及びプランジャーの移動量を測定する。タイヤが破壊しないでプランジャーがリムに達する場合は、リムに達する直前の値を記録する。 各位置における破壊エネルギーは、次の式によって算出する。	9.7 プランジャー試験 試料に同じ呼びのチューブを封入し、タイヤに適合するリムに装着してチューブ内に 350 kPa±10 kPa の空気圧を加える。 試験装置は、直径 8.0 mm±0.1 mm で先端が半球状のプランジャーを毎分 50 mm±2.5 mm の速さでタイヤに押し付けることができるものを用いる。 測定はプランジャーをタイヤ軸に垂直に、できるだけタイヤの中央部に近いトレッドパターン突出部に毎分 50 mm±2.5 mm の速さで押し付けて行う。次に、タイヤの外周をほぼ 4 等分したそれぞれの位置で、タイヤが破壊する直前の押込み力及びプランジャーの移動量を測定する。タイヤが破壊しないでプランジャーがリムに達する場合は、リムに達する直前の値を記録する。 各位置における破壊エネルギーは、式(15)によって算出する。
156	$W = \frac{F \times P}{2}$ ここに W : 破壊エネルギー (J) F : 破壊時の押込み力 (N) P : プランジャーの移動量 (m)	$W = \frac{F \times P}{2} \dots\dots\dots (15)$ ここで、 W : 破壊エネルギー (J) F : 破壊時の押込み力 (N) P : プランジャーの移動量 (m)
157	タイヤの破壊エネルギーは 4 か所の測定値のうち、最高値と最低値とを除き、残り 2 個について上の式によって得た各位置における破壊エネルギー W の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。	タイヤの破壊エネルギーは 4 か所の測定値のうち、最高値と最低値とを除き、残り 2 個について式(15)によって得た各位置における破壊エネルギー W の平均値を、 JIS Z 8401 によって小数点以下 1 桁に丸める。
158	8.7 タイヤのリム外れ水圧試験	9.8 タイヤのリム外れ水圧試験
159	8.7.1 試験装置 試験装置は、手押し水圧試験用ポンプ又はこれに相当するものに内径が 3 mm 以上の耐圧ホース又はパイプを導管に用い、チューブに連結できるようにした装置を用いる。導管の長さは 2 m 以内とする。 試験用リムは、 JIS D 9421 に規定するリムで、左右対称のものを用いる。ただし、受渡当事者間の協定によって JIS D 9421 の規定外のリムを使用することができる。	9.8.1 試験装置 試験装置は、手押し水圧試験用ポンプ又はこれに相当するものに内径が 3 mm 以上の耐圧ホース又はパイプを導管に用い、チューブに連結できるようにした装置を用いる。導管の長さは 2 m 以内とする。 試験用リムは、 JIS D 9421 に規定するリムで、左右対称のものを用いる。ただし、受渡当事者間の協定によって JIS D 9421 の規定外のリムを使用することができる。
160	8.7.2 試験方法	9.8.2 試験方法
161	供試タイヤは 8.7.1 の適用リムに装着し、導管によって水圧試験用ポンプに連結し、チューブ内の空気を抜いた後、徐々に圧力を加え、ビード部が正常な位置になるように調整し、再び内圧を徐々に加える。内圧は 表 1～表 3 に規定する標準空気圧までは、徐々に加え、その後は毎分 100±10 kPa の割合で昇圧する。ビード部の 1 か所が外れた時点の内圧を読み取り、リム外れ内圧とする。指針の読みは針が安定したときを読み、測定単位は 100 kPa とする。	供試タイヤは 9.8.1 の適用リムに装着し、導管によって水圧試験用ポンプに連結し、チューブ内の空気を抜いた後、徐々に圧力を加え、ビード部が正常な位置になるように調整し、再び内圧を徐々に加える。内圧は 表 1 から表 4 に規定する標準空気圧までは、徐々に加え、その後は毎分 100 kPa±10 kPa の割合で昇圧する。ビード部の 1 か所が外れた時点の内圧を読み取り、リム外れ内圧とする。 指針 は針が安定したときを読み、測定単位は 100 kPa とする。
162	8.8 走行耐久性試験	9.9 走行耐久性試験
163	8.8.1 試験機 試験機は、タイヤをドラム面に垂直にドラムの中心に向かって押し付け、ドラムの回転によってタイヤが連動する構造とする。ドラムは鉄製で、表面が平滑とし、外径は 760±10 mm、幅は試験を行うタイヤの呼び幅の 2 倍以上とする。ドラムの表面に軸方向に平行に、ドラム幅と等しい長さの鋼製のショックバー2 個を、外周に等間隔に取り付ける。 ショックバーは、断面の幅 10±0.1 mm、高さ 5±0.1 mm の長方形とし、角の曲率半径は 1.0±0.05 mm とする。	9.9.1 試験機 試験機は、タイヤをドラム面に垂直にドラムの中心に向かって押し付け、ドラムの回転によってタイヤが連動する構造とする。ドラムは鉄製で、表面が平滑とし、外径は 760 mm±10 mm、幅は試験を行う タイヤの“タイヤ幅の公称値”、“タイヤ総幅の記号”、“タイヤ幅の公称値の記号”又は“タイヤ幅の呼び” の 2 倍以上とする。ドラムの表面に軸方向に平行に、ドラム幅と等しい長さの鋼製のショックバー2 個を、外周に等間隔に取り付ける。 ショックバーは、断面の幅 10 mm±0.1 mm、高さ 5 mm±0.1 mm の長方形とし、角の曲率半径は 1.0 mm±0.05 mm とする。

164	8.8.2 試験方法 試料に同じ呼びのチューブを封入し、タイヤに適合するリムに装着する。チューブ内に表 1～表 3に規定する標準空気圧を加える。次に、タイヤをドラム面に垂直に表 1～表 3に規定する最大負荷で押し付け、ドラムの回転によってタイヤを回転させる。ドラムの表面速度は毎時 40 ± 4 km とし、ドラム表面の走行距離が表 4に規定するタイヤの呼び別の走行耐久距離に到達するまで走行試験を行い、タイヤの状態を調べる。 試験室の温度は、試料から 1 m 以上離れた位置で測って 25 ± 10 °C とする。	9.9.2 試験方法 チューブタイプのタイヤの場合は、試料に同じ呼びのチューブを封入し、そのタイヤに適合するリムに装着する。チューブレスタイプの場合は、そのタイヤに適合するリムに装着し、必要に応じてシーラント剤を用いてもよい。チューブ内または、チューブレスタイプの場合はタイヤ内に表 1 から表 4に規定する標準空気圧を加える。次に、タイヤをドラム面に垂直に表 1 から表 4に規定する最大負荷で押し付け、ドラムの回転によってタイヤを回転させる。 表 1 から表 4に記載のない組合せの場合は、システム最大空気圧の 90 %の空気圧を充填する。標準空気圧だけが表示されている場合は、標準空気圧の 90 %とする。タイヤをドラム面に垂直に 640 N の負荷で押しつけ、ドラムの回転によってタイヤを回転させる。 ドラムの表面速度は毎時 $40 \text{ km} \pm 4 \text{ km}$ とし、ドラム表面の走行距離が表 11に規定するタイヤの呼び別の走行耐久距離に到達するまで走行耐久試験を行い、タイヤの状態を調べる。 試験室の温度は、試料から 1 m 以上離れた位置で測って $25 \text{ }^{\circ}\text{C} \pm 10 \text{ }^{\circ}\text{C}$ とする。
165	8.9 サイドゴムのオゾン劣化試験	9.10 サイドゴムのオゾン劣化試験
166	8.9.1 試験片の採取作製 試験片の採取作製は、次のとおり行う。	9.10.1 試験片の採取作製 サイドゴム（サイドウォールに使用するゴム）のオゾン劣化試験の試験片の採取作製は、次のとおり行う。
167	a) タイヤを長さ 60 mm×幅 55 mm に切断し、これを試験片とする。	a) タイヤを長さ 60 mm×幅 50 mm に切断し、これを試験片とする。裁断の方向はリムラインまたはビードワイヤに沿って 60 mm とする。試験片の一例を図 5 に示す。
168		 図 5ーサイドゴムのオゾン劣化試験の試験片（一例）
169	b) この試験片を 60 ± 2 °C で、1 時間恒温槽で熱処理後、丸棒（φ 15 mm）に巻き付けて、平滑な短冊状にする。	b) この試験片を $60 \text{ }^{\circ}\text{C} \pm 2 \text{ }^{\circ}\text{C}$ で、1 時間恒温槽で熱処理後、丸棒（φ 15 mm）に巻き付けて、少なくとも締付けバンド間 30 mm 以上が試験対象となるように締め付けて固定する。固定方法の一例を図 6 に示す。
170		 図 6ー試験片の丸棒への固定方法（一例）
171	8.9.2 試験方法 試験方法は JIS K 6259 による。この場合、オゾン濃度は、250 ± 50 ppb、試験時間は 16 時間とする。ただし、タイヤの締付け部の 5 mm 以内は試験の対象としない。	9.10.2 試験方法 試験方法は JIS K 6259-1 の静的オゾン劣化試験 A 法（亀裂状態観察法）による。この場合、オゾン濃度は、$25 \text{ pphm} \pm 5 \text{ pphm}$、試験時間は 16 時間とする。ただし、タイヤの締付け部の 5 mm 以内は評価の対象としない。試験温度は (40 ± 2) °C とする。ただし、製品が使用される環境が、例えば、$23 \text{ }^{\circ}\text{C}$ 又は $30 \text{ }^{\circ}\text{C}$ 近辺の温度が予想される場合には、(23 ± 2) °C、(30 ± 2) °C などの試験温度で行ってもよい。この場合、(40 ± 2) °C における試験結果と異なることがある（JIS K 6259-1 の 9.2 参照）。

172	9 製品の呼び方	10 製品の呼び方																								
173	製品の呼び方は、規格番号又は“自転車用タイヤ”（名称）若しくは“運搬車用タイヤ”（名称）、及びタイヤの呼びによる。	製品の呼び方は、規格番号及びタイヤの呼び，“自転車用タイヤ”（名称）及びタイヤの呼び、又は“運搬車用タイヤ”（名称）及びタイヤの呼びによる。																								
174	例 1 JIS K 6302 26×1 ³ / ₈	例 1 JIS K 6302 26×1 ³ / ₈																								
175	例 2 自転車用タイヤ 20×1.50	例 2 自転車用タイヤ 20×1.50																								
176	例 3 運搬車用タイヤ 26×2	例 3 運搬車用タイヤ 26×2																								
177		11 タイヤの呼び																								
178		11.1 ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤの呼び																								
179		11.1.1 一般 クリンチャータイヤには、11.1.2 に従って公称寸法の呼びを表示する。その他の表示は 11.1.3 及び 11.1.4 に適合しなければならない。																								
180		11.1.2 公称寸法の呼び タイヤ側面の公称寸法の呼びの表示は次のように明確に表示されなければならない。 （タイヤ幅の公称値）－（公称リム径） タイヤ幅の公称値 S_N は、指定の空気圧下でのタイヤ幅であり、そのタイヤは設計リムに取り付けて最大空気圧を充填した状態で測定するように設計されている。単位はミリメートル（mm）とし、整数で表す。 公称リム径 D_R は、そのタイヤが適合するように設計されたリムの公称ビードシート径を表す。単位はミリメートル（mm）とする。 注記 公称リム径 D_R は、JIS D 9421:202x の表 2 の“公称リム径の記号”を参照。																								
181		11.1.3 全体寸法の呼び																								
182		11.1.3.1 一般 タイヤの寸法が、対応する全体寸法の呼びによって表される場合、全体寸法の呼びは次のように表示する。 （タイヤ外径の記号）×（タイヤ総幅の記号）																								
183		11.1.3.2 タイヤ外径の記号 公称リム径 D_R に対応するタイヤ外径の記号を、表 13 に示す。																								
184		表 13－公称リム径及びタイヤ外径の記号の対応 <table><tr><th>公称リム径 D_R</th><th>タイヤ外径の記号</th></tr><tr><td>203</td><td>12.5</td></tr><tr><td>254</td><td>14</td></tr><tr><td>305</td><td>16</td></tr><tr><td>349</td><td>16</td></tr><tr><td>355</td><td>18</td></tr><tr><td>406</td><td>20</td></tr><tr><td>507</td><td>24</td></tr><tr><td>559</td><td>26</td></tr><tr><td>584</td><td>27.5</td></tr><tr><td>622</td><td>29 ^{a)}</td></tr><tr><td colspan="2">注 ^{a)} タイヤ幅の公称値 S_N が 50 以下の場合、タイヤ外径の記号 28 が認められる。</td></tr></table>	公称リム径 D_R	タイヤ外径の記号	203	12.5	254	14	305	16	349	16	355	18	406	20	507	24	559	26	584	27.5	622	29 ^{a)}	注 ^{a)} タイヤ幅の公称値 S_N が 50 以下の場合、タイヤ外径の記号 28 が認められる。	
公称リム径 D_R	タイヤ外径の記号																									
203	12.5																									
254	14																									
305	16																									
349	16																									
355	18																									
406	20																									
507	24																									
559	26																									
584	27.5																									
622	29 ^{a)}																									
注 ^{a)} タイヤ幅の公称値 S_N が 50 以下の場合、タイヤ外径の記号 28 が認められる。																										
185		11.1.3.3 タイヤ総幅の記号 ミリメートル単位で表したタイヤ総幅 W とタイヤ総幅の記号との対応を表 14 に示す。																								
186		表 14－タイヤ総幅の記号 <table><tr><th>タイヤ総幅 W (mm)</th><th>タイヤ総幅の記号</th></tr><tr><td>18</td><td>0.70</td></tr><tr><td>19</td><td>0.75</td></tr><tr><td>20</td><td>0.80</td></tr><tr><td>21</td><td>0.85</td></tr><tr><td>22</td><td>0.85</td></tr></table>	タイヤ総幅 W (mm)	タイヤ総幅の記号	18	0.70	19	0.75	20	0.80	21	0.85	22	0.85												
タイヤ総幅 W (mm)	タイヤ総幅の記号																									
18	0.70																									
19	0.75																									
20	0.80																									
21	0.85																									
22	0.85																									

			23	0.90	
			24	0.95	
			25	1.00	
			26	1.00	
			27	1.05	
			28	1.10	
			29	1.15	
			30	1.20	
			31	1.20	
			32	1.25	
			33	1.30	
			34	1.35	
			35	1.40	
			36	1.40	
			37	1.45	
			38	1.50	
			39	1.55	
			40	1.55	
			41	1.60	
			42	1.65	
			43	1.70	
			44	1.75	
			45	1.75	
			46	1.80	
			47	1.85	
			48	1.90	
			49	1.95	
			50	2.00	
			51	2.00	
			52	2.00	
			53	2.10	
			54	2.10	
			55	2.20	
			56	2.20	
			57	2.20	
			58	2.30	
			59	2.30	
			60	2.40	
			61	2.40	
			62	2.40	
			63	2.50	
			64	2.50	
			65	2.60	
			66	2.60	
			67	2.60	
			68	2.70	
			69	2.70	
			70	2.80	
			71	2.80	
			75	3.00	
			76	3.00	
			80	3.10	
			85	3.30	

		<table><tr><td>90</td><td>3.50</td></tr><tr><td>95</td><td>3.70</td></tr><tr><td>100</td><td>3.90</td></tr><tr><td>102</td><td>4.00</td></tr><tr><td>105</td><td>4.10</td></tr><tr><td>110</td><td>4.30</td></tr><tr><td>115</td><td>4.50</td></tr><tr><td>120</td><td>4.70</td></tr><tr><td>122</td><td>4.80</td></tr><tr><td>125</td><td>4.90</td></tr><tr><td>127</td><td>5.00</td></tr><tr><td>130</td><td>5.10</td></tr><tr><td>132</td><td>5.20</td></tr></table>	90	3.50	95	3.70	100	3.90	102	4.00	105	4.10	110	4.30	115	4.50	120	4.70	122	4.80	125	4.90	127	5.00	130	5.10	132	5.20
90	3.50																											
95	3.70																											
100	3.90																											
102	4.00																											
105	4.10																											
110	4.30																											
115	4.50																											
120	4.70																											
122	4.80																											
125	4.90																											
127	5.00																											
130	5.10																											
132	5.20																											
187		11.1.4 旧寸法の表示 その他のシステムの表示が使用されていた諸国の顧客を助けるために、旧寸法の表示はタイヤの寸法の呼びの前後に括弧又は“/”で区切って表示してもよい。 11.1.2 に規定する公称寸法の呼びに用いる文字より小さい文字を採用するほうがよい。“公称寸法の呼び”と“旧寸法の表示”との対応は附属書 A を参照。附属書 A に含まれない寸法は、公称寸法の呼びをもつものとする。																										
188		11.2 フックドビードリムに取り付ける “ビーデッドエッジ” タイヤの呼び フックドビードリムに取り付ける “ビーデッドエッジ” タイヤの呼びは、タイヤのサイドウォールに示すものとし、次のように表示する。 （タイヤ外径の記号）×（タイヤ幅の公称値の記号） タイヤ外径の記号は、偶数の整数とする。“×”は、タイヤ外径の記号とタイヤ幅の公称値の記号の間に入れる。タイヤ幅の公称値の記号は、100 分の 1 又は 1000 分の 1 で表し、末尾は 0 又は 5 とする（例えば、1.375）。																										
189	10 表示 タイヤには、容易に消えない方法で、次の事項を表示しなければならない。	12 表示 タイヤには、容易に消えない方法で、次の事項を表示しなければならない。																										
190	a) タイヤの呼び	a) タイヤの呼び (3.1 参照)																										
191	b) 標準空気圧、最大空気圧又は推奨空気圧範囲	b) 最大空気圧、推奨空気圧範囲又は標準空気圧 最大空気圧、推奨空気圧範囲又は標準空気圧の表示の例を、次に示す。																										
192	例 1 標準空気圧 300 kPa	例 1 最大空気圧 350 kPa																										
193	例 2 最大空気圧 350 kPa	例 2 推奨空気圧範囲 250 kPa－350 kPa																										
194	例 3 推奨空気圧範囲 250－350 kPa	例 3 標準空気圧 300 kPa																										
195		最大空気圧は、キロパスカルの 10 の倍数で表示しなければならない。 ストレートサイドタイプリム及びチューブレスストレートサイドタイプリムで使用する場合の最大空気圧を追加で示してもよい。ストレートサイドタイプリム及びチューブレスストレートサイドタイプリムの推奨最大空気圧を、表 15 に示す。																										
196		表 15－ストレートサイドタイプリム及びチューブレスストレートサイドタイプリムの最大空気圧 <table><tr><th>タイヤ幅の公称値 S_N (mm)</th><th>使用時における最大空気圧 kPa</th></tr><tr><td>18～24</td><td>550</td></tr><tr><td>25～29</td><td>500</td></tr><tr><td>30～34</td><td>450</td></tr><tr><td>35～39</td><td>400</td></tr><tr><td>40～44</td><td>350</td></tr><tr><td>45～54</td><td>300</td></tr><tr><td>55～64</td><td>250</td></tr><tr><td>65～74</td><td>200</td></tr><tr><td>75～84</td><td>150</td></tr></table>	タイヤ幅の公称値 S_N (mm)	使用時における最大空気圧 kPa	18～24	550	25～29	500	30～34	450	35～39	400	40～44	350	45～54	300	55～64	250	65～74	200	75～84	150						
タイヤ幅の公称値 S_N (mm)	使用時における最大空気圧 kPa																											
18～24	550																											
25～29	500																											
30～34	450																											
35～39	400																											
40～44	350																											
45～54	300																											
55～64	250																											
65～74	200																											
75～84	150																											
197		タイヤに最小空気圧が表示されている場合、使用時のタイヤのたわみは、最小空気圧のときのタイヤ高さの設																										

		計値 H_{design} の 30 %を超えないようにすることを推奨する。		
198	c) 製造業者名又はその略号	c) 製造業者名又はその略号		
199	d) 製造番号又は製造記号	d) 製造番号又は製造記号		
200		e) チューブレス表示 チューブレスタイヤには、そのタイヤがリムに取り付けられている場合でも、タイヤの側面に “TUBELESS” 又は “TL” の文字が明確に見えるように表示されていなければならない。 チューブレスレディタイヤには、そのタイヤがリムに取り付けられている場合でも、タイヤの側面に “TUBELESS READY” 又は “TLR” の文字が明確に見えるように表示されていなければならない。 チューブタイヤには、そのタイヤがリムに取り付けられている場合でも、タイヤの側面に “TUBE TYPE” の文字が明確に見えるように表示してもよい。		
201		タイヤへの表示の例を、次に示す。		
202		例 4 ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤ 公称寸法の呼びが 25-622 で、最大空気圧が 850 kPa のタイヤを次のように表示してもよい。 25-622 最大空気圧 850 kPa		
203		例 5 フックドビードリムに取り付ける“ビードドエッジ”タイヤ タイヤ外径の記号が 20、タイヤ幅の公称値の記号が 1.375 のタイヤには、次のように表示しなければならない。 20 × 1.375		
204		a)から e)以外に、次の事項を表示してもよい。		
205		f) 最小空気圧		
206		g) リムの設計値		
207		h) リム幅の推奨範囲		
208		i) その他の特性		
209		j) タイヤの回転方向が決まっている場合、その方向を示すための表示		
210		k) クロチェットタイプリム用に設計されたタイヤに、“MOUNT ONLY ON HOOKED RIMS”，“MOUNT ONLY ON CROTCHET-TYPE RIMS”，“フックドリムだけのマウント” 又は “クロチェットタイプリムだけのマウント” の表示		
211		l) リムライン（タイヤのサイドウォールに、ビード部が正しくかん合したことを示す同心円状の目印，  7 参照）		
212		 記号説明 1：リムライン 図 7ーリムライン		
213		附属書 A （参考） 旧寸法の表示		
214		歴史的理理由から，11.1.3 で標準化されているタイヤ外径の記号は，表 A.1 にある旧寸法の表示の径の記号と異なる可能性がある。		
215		表 A.1ー “公称寸法の呼び” と “旧寸法の表示” の対応表 <table><tr><td>公称寸法の呼び</td><td>旧寸法の表示</td></tr></table>	公称寸法の呼び	旧寸法の表示
公称寸法の呼び	旧寸法の表示			

			28 – 590	26 × 1 3/8 × 1 1/8	
			28 – 622	28 × 1 5/8 × 1 1/8 28 × 1 5/8 × 1 1/4 × 1 1/8	700 × 28 C 700 C Carrera
			28 – 630	27 × 1 1/4 50	
			28 – 635		700 B
			28 – 642	28 × 1 3/8 × 1 1/8	700 × 28 A
			32 – 239	12 × 1 3/8 × 1 1/4	300 × 32
			32 – 248	12 × 1 1/4	300 × 32 A
			32 – 288	14 × 1 3/8 × 1 1/4	350 × 32
			32 – 298	14 × 1 1/4	350 × 32 A
			32 – 340	16 × 1 3/8 × 1 1/4	400 A 400 × 32
			32 – 349	16 × 1 1/4 NL	400 × 32 A
			32 – 357	17 × 1 1/4	
			32 – 369	16 × 1 1/4	
			32 – 390	18 × 1 3/8 × 1 1/4	450 A 450 × 32
			32 – 400	18 × 1 1/4	450 × 32 A
			32 – 438		500 × 32 ANL
			32 – 440	20 × 1 3/8 × 1 1/4	500 A 500 × 32
			32 – 451	20 × 1 1/4	500 × 32 A
			32 – 489		550 × 32 ANL
			32 – 490	22 × 1 3/8 × 1 1/4	550 A 550 × 32
			32 – 501	22 × 1 1/4	550 × 32 A
			32 – 508	22 × 1 1/4 × 1	
			32 – 540	24 × 1 3/8 × 1 1/4	
			32 – 541	24 × 1 3/8×1 1/4 NL	600 A 600 × 32 A
			32 – 547	24 × 1 1/4	
			32 – 590	26 × 1 3/8 × 1 1/4	650 × 32 A
			32 – 597	26 × 1 1/4	
			32 – 622	28 × 1 5/8 × 1 1/4 28 × 1 1/4 × 1 3/4	700 × 32 C 700 × C Course
			32 – 630	27 × 1 1/4	
			32 – 635	28 × 1 1/2 × 1 1/8	700 × 28 B 700 B Course
			37 – 288		350 A Comfort 350 1/2 Balloon
			37 – 298	14 × 1 3/8	
			37 – 337	16 × 1 3/8 ANL	
			37 – 340	16 × 1 3/8 NL	400 A Comfort 400 1/2 Balloon 400 × 42 A 400 × 35 A
			37 – 349	16 × 1 3/8 NL	
			37 – 387	18 × 1 3/8	
			37 – 390		450 A Comfort 450 1/2 Balloon
			37 – 400	18 × 1 3/8	
			37 – 438	20 × 1 3/8 NL	
			37 – 440		500 A Comfort

				500 1/2 Balloon	
			37 – 451	20 × 1 3/8	
			37 – 489	22 × 1 3/8 NL	
			37 – 490		
				550 A Comfort 550 1/2 Balloon	
			37 – 498	22 × 1 3/8×1 1/4 NL	
			37 – 501	22 × 1 3/8	
			37 – 540	24 × 1 3/8	
			37 – 541		
				600 A Comfort 600 1/2 Balloon 600 × 35 A	
			37 – 565	25 × 1 3/8	
			37 – 584	26 × 1 1/2 × 1 3/8 26 × 1 3/8 × 1 1/2	
			37 – 590	26 × 1 3/8	
				650 A 650 × 35 A	
			37 – 622	28 × 1 5/8 × 1 3/8 28 × 1 3/8 × 1 5/8	
				700 × 35 C	
			37 – 630	27 × 1 3/8	
			37 – 642	28 × 1 3/8	
				700 × 35 A	
			40 – 279	14 × 1 1/2	
				350 × 38 B	
			40 – 288	14 × 1 1/2 NL	
				350 × 38	
			40 – 330	16 × 1 1/2	
				400 × 38 B	
			40 – 406	20 × 1.5	
			40 – 432	20 × 1 1/2	
			40 – 440	20 × 1 1/2 NL	
				500 × 38	
			40 – 534	24 × 1 1/2	
			40 – 540	24 × 1 3/8 × 1 1/2 24 × 1 1/2 × 1 3/8	
			40 – 571	26 × 1 1/2C.S. 26 × 1 5/8×1 1/2 NL	
			40 – 584	26 × 1 1/2	
				650 × 35 B 650 × 38 B	
			40 – 590	26 × 1 3/8×1 1/2 NL	
			40 – 622	28 × 1 5/8×1 1/2 NL	
				700 × 38 C	
			40 – 635	28 × 1 1/2 × 1 3/8 28 × 1 1/2	
				700 B Standard 700 × 35 B 700 × 38 B	
			44 – 194	10 × 1 5/8	
			44 – 288	14 × 1 3/8 × 1 5/8	
				350 A 350 × 42 A	
			44 – 340	16 × 1 5/8	
			44 – 428	20 × 1 5/8 × 1 1/2	
			44 – 484	22 × 1 5/8 × 1 1/2	
			44 – 531	24 × 1 5/8 × 1 1/2	
			44 – 584	26 × 1 1/2 × 1 5/8 26 × 1 5/8 × 1 1/2 26 × 1 3/4 × 1 1/2	
				650 B Semi-comfort 650 B 1/2 Balloon 650 × 42 B	
			44 – 622	28 × 1 5/8	
				700 × 42 C	
			44 – 635	28 × 1 5/8 × 1 1/2 28 × 1 1/2 × 1 5/8	
			47 – 203	12 1/2 × 1.75 × 2 1/4	
			47 – 222	11 × 1 3/4	

			47 – 305	16 × 1.75 × 2	
			47 – 317	16 × 1 3/4	
			47 – 355	18 × 1.75 × 2	
			47 – 406	20 × 1.75 × 2 20 × 1.75	
			47 – 419	20 × 1 3/4	
			47 – 501 T	24 × 1 3/4 R	600 × 45 C
			47 – 507	24 × 1.75 × 2 24 × 1.75	
			47 – 520	24 × 1 3/4	
			47 – 559	26 × 1.75 × 2 26 × 1.75	
			47 – 571	26 × 1 3/4 26 × 1 5/8	650 × 45 C 650 C S.C.
			45 – 584	26 × 1.75 × 1 1/2 26 × 1 1/2 × 1 3/4	650 × 45 B
			47 – 622	28 × 1 3/4 28 × 1.75 28 × 1 5/8 × 1 3/4	700 × 45 C
			50 – 406	20 × 1.95	
			50 – 559	26 × 2.00	
			50 – 584		
			51 – 559	26 × 1.90	
			54 – 298	14 × 2 × 1 3/4	
			54 – 305	16 × 2	
			54 – 400	20 × 2 × 1 3/4 20 × 2F 4J	
			54 – 406	20 × 2.00	
			54 – 428	20 × 2	
			54 – 559	26 × 2.00	
			54 – 571	26 × 1 3/4 × 2 26 × 2 × 1 3/4 26 × 2	650 × 50 C
			54 – 584	26 × 2 × 2 1/2 26 × 1 1/2 × 2	
			54 – 609	28 × 2	
			57 – 239		300 × 55 A
			57 – 251 T		315 × 55
			57 – 305	16 × 2.125 16 × 2.125 × 2	
			57 – 390		450 × 55 A
			57 – 406	20 × 2.125 20 × 2.125 × 2	
			57 – 507	24 × 2.125 24 × 2.125 × 2	
			57 – 559	26 × 2.125 26 × 2.125 × 2	
			61 – 584		
			62 – 203	12 1/2 × 2 1/4	320 × 57
			62 – 305	16 × 2.125	
			67 – 203	13 × 2 1/2	330 × 65
			67 – 381	20 × 2 1/2	

216		附属書 JA (参考) 自転車用タイヤの最大負荷
217		自転車用タイヤの最大負荷は、JIS D 9111 に示す車種別使用条件などを参考とし、各種自転車の設計質量を調査の上、前後車輪の負荷比率に基づき算出した後、車輪の質量値と、次に示す TRA (Tyre and Rim Association) の質量計算式を用いて算出した質量値とを勘案して、最小単位を 5 kg とした数値である。
218		$W=K\times 4.0\times 10^{-4}\times P^{0.585}\times S^{1.39}(D_r+S)\quad\cdots\cdots\cdots(\text{JA.1})$ ここで、 W： 質量 (kg) K： 質量係数 P： 空気圧 (kgf/cm²) S： Wを求めるための関数 (mm) [式(JA.2)参照] D_r： 適用リムのビード径 (mm)

					リム（HB リム）に取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤと規定している。	
			運搬車用ビーデッドエッジタイヤ	BE タイヤ	Beaded Edge の略。 自転車用 BE タイヤが国内では生産終了し、再生産の見込みがないため、本規格では自転車用 BE タイヤを削除した。運搬車用 BE タイヤの実態は不明のため本規格に残す。	

パブリックコメント用